［報告１］　資料

明治公園整備事業

新宿区景観まちづくり審議会

2022.10.20

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

1｜敷地概要

■敷地概要

計画名称	（仮称）都立明治公園整備・管理運営事業新築工事
地名地番	新宿区　霞ヶ丘町 16 番 17 号・18 号、103 番 渋谷区　神宮前 2 丁目 502 番
地域地区等	第一種住居地域、第一種中高層住居専用地域 第二種文教地区（一種住居）、第一種文教地区（一種中高専） 神宮外苑地区 地区計画
指定容積率	400%（一種住居）、300%（一種中高専）
指定建ぺい率	60%
敷地面積	約 16,179　m

■案内図

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

2｜周辺状況分析

計画地西側

外苑西通り・新国立競技場

計画敷地の西側は、外苑西通りを境が区界となっている。
外苑西通り沿いには、新国立競技場が立地している。

①左手に新国立競技場（バックヤード部分）が立地し、自動車がメインの通りと感じられる。

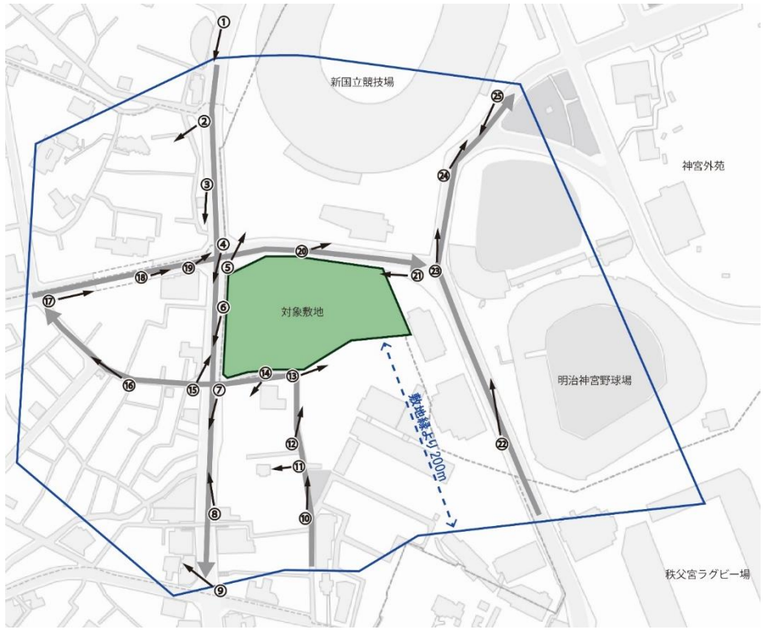
④左前方に対象敷地を望むことができる。右手に中層建築が建ち並んでいるのに対し、左手はひらけた景観を生み出している。

⑤対象敷地の北部には新国立協議場が立地し、当地区のランドマークとしての役割を有している。

⑥左手に対象敷地が立地している。対象敷地の前面歩道は、街路樹もあり狭い印象がある。

⑦対象敷地の前面歩道から南側は、街路樹もあり狭い印象がある。

⑧対象敷地の前面歩道から南側は、街路樹や植栽帯もあり狭い印象がある。



計画地南側

勢揃坂

計画敷地の南側は、敷地に沿って勢揃坂が通っている。
また、敷地に面して高層マンションが立地している。

⑩対象敷地に向かって下り坂となっており、閑静な路地である。低層な住宅もいくつか立地している。

⑫勢揃坂沿いに、高層マンションが立地している。高層マンション外構より勢揃坂にみどり豊かな様子が感じられる。

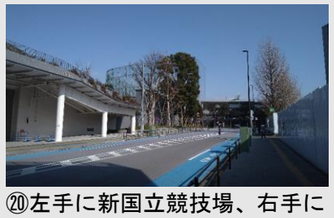
⑭対象敷地南側には商店が建ち並んでいる。

計画地北側

スタジアム通り・新国立競技場

計画敷地の北側は、敷地に沿ってスタジアム通り、新国立競技場が面している。

⑲左手に新国立競技場、右手に対象敷地立地し、デッキでつながれている。



⑳左手に新国立競技場、右手に対象敷地立地し、奥に明治神宮外苑ゴルフ場が立地している。

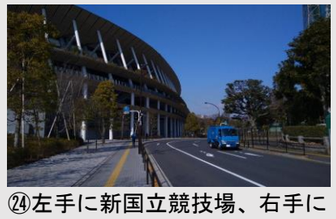
㉑左手の日本オリンピックミュージアム敷地のみどりが豊かである。

計画地東側

新国立競技場・明治神宮野球場等

計画敷地の東側は、明治神宮野球場等のスポーツ施設が立地している。

㉒対象敷地に向かって下り坂となっており、閑静な路地である。低層な住宅もいくつか立地している。



㉔左手に新国立競技場、右手に明治神宮外苑ゴルフ場が立地している。神宮外苑へとみどりがつながっている。

㉕手前の神宮外苑側から対象地方面へみどりがつながっている。

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

3｜上位計画

■新宿区まちづくり長期計画　都市計画マスタープラン

目指す都市の骨格

〇将来の都市構造

・賑わいと交流を先導する地区を「心（しん）」

・高い都市活動を支える幹線道路やその沿道を「軸（じく）」

・都市に潤いを与える水辺やみどりのつながりを「環（わ）」

地域別まちづくり方針【四ツ谷地域まちづくり方針】

〇地域の将来像

歴史と文化の香りあふれ、多くの人が集う夢のまち

〇都市の骨格に関するまちづくり方針

神宮外苑地区・信濃町駅周辺地区【賑わい交流の心】

・東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催決定を契機として、神宮外苑地区では、新国立競 技場や関連施設の整備が進んでいます。神宮外苑への玄関口となる信濃町駅周辺とあわせて、スポーツクラスターとして集客力の高い、賑わいと活力のあるまちとして再生を推進するとともに、周辺の快適な歩行者空間や環境を整備します。

・明治神宮外苑周辺のみどり豊かな潤いと調和したまちづくりを推進します。

外濠周辺、新宿御苑周辺と明治神宮外苑周辺【七つの都市の森】

・外濠周辺、新宿御苑周辺と明治神宮外苑周辺のまとまったみどりをそれぞれ「七つの都市の森」の一つと位置づけ、みどりの保全・充実・活用を進めます。

〇地域のまちづくり方針

みどり・公園

①水とみどりのネットワークの形成を図ります。

・新宿御苑、明治神宮外苑などの大規模公園を核とし、周辺地域へみどりが広がるよう、地区計画や景観まちづくり計画等の制度の活用を検討します。

②利用者の声を反映した公園の再整備を進めます。

・公園の再整備にあたっては、公園利用者のニーズを把握し、地域の実情にあった公園整備を進めていきます。また、地域の住民による公園管理のしくみについての検討を進めます。

■新宿区景観形成ガイドライン【四ツ谷地区（神宮外苑・南元町エリア）】

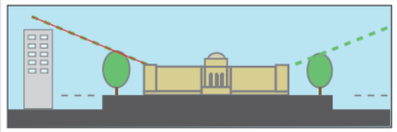
景観形成の目標

神宮外苑の広大な眺めと豊かなみどりに囲まれたまちなみへ

景観形成の方針

1. 聖徳記念絵画館の広大な眺めを保全する

景観形成の考え方：聖徳記念絵画館を中心とする広場からの広大な眺めを、将来に渡って継承する。



聖徳記念絵画館を中心とした広大な眺め

具体的な方策：■広場を取り囲む既存樹木を保全する

■広場からの眺めに配慮した形態意匠とする

■色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける

■屋上広告物は、設置しないようにするか、建築物と一体的に計画し、周囲からの見え方に配慮する

2. 周辺のまとまったみどりと身近なみどりを感じられる景観をつくる

景観形成の考え方：住宅地から、周辺を包み込む神宮外苑や赤坂御所のみどりを眺められるよう配慮する。また、住宅地内でも 身近なみどりを感じられるようにする。

路地の奥に豊かなみどりが見える。この奥行きのある眺めを保全・創出する

具体的な方策：■住宅地内部から周囲のみどりを眺められるような配置とする

■色彩はみどりと調和した落ち着いたものとし、特に、彩度の高いものは避ける

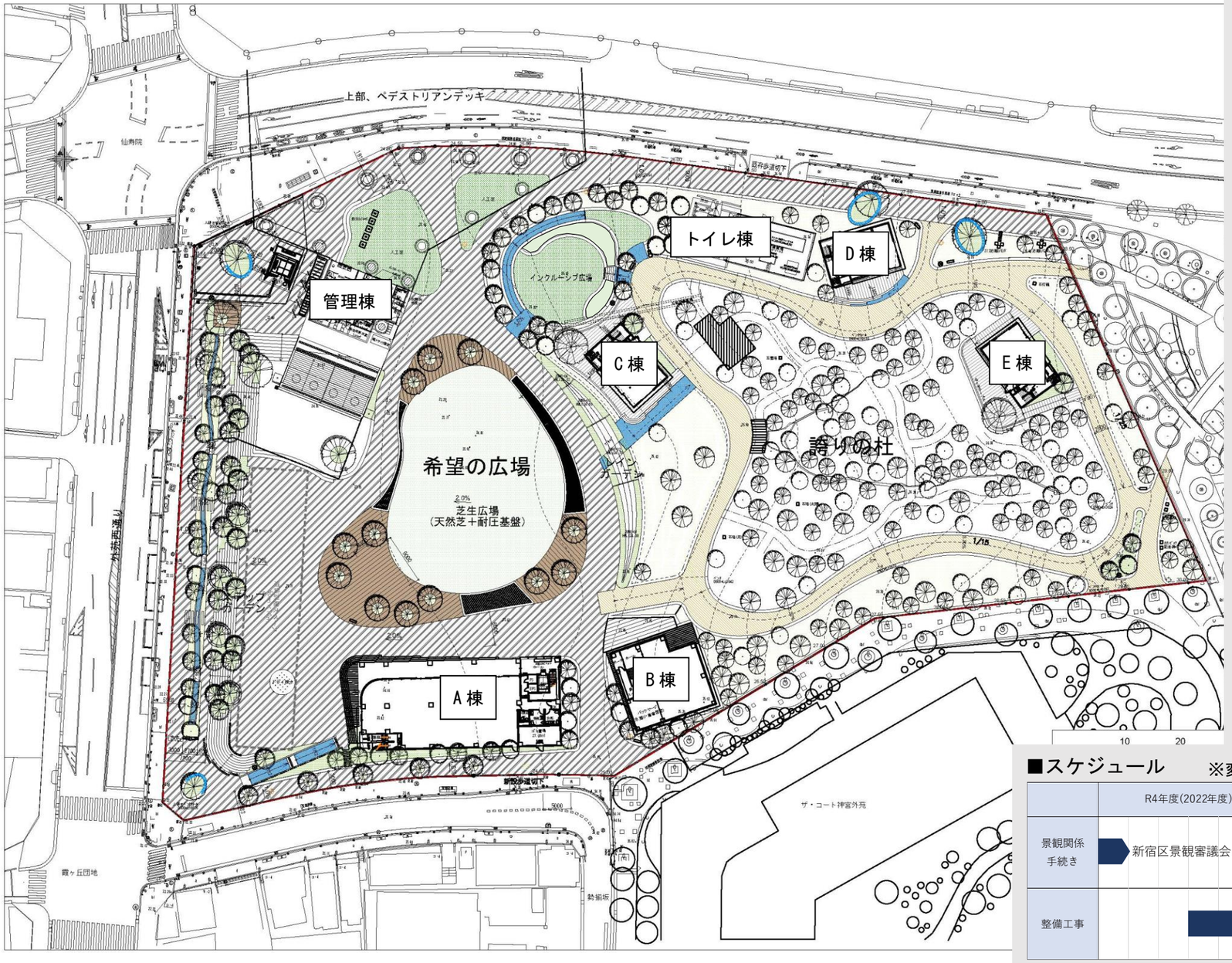
■外壁の素材は、自然素材のものを使用する

■視線が集中しやすい道路の折れ曲がり部分などでは、積極的に緑化を行う

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

4｜計画概要

■配置図



■計画諸元

敷地面積	約 16,179　m2
延床面積	約 2,700　m2
建物高さ	(最大)約 14700mm
階数	1～3　階
主要用途	店舗、事務所、公衆浴場、公衆便所
防災機能	防災対応常設トイレ、マンホールトイレ、非常用発電設備、消防訓練スペース、防災井戸ほか

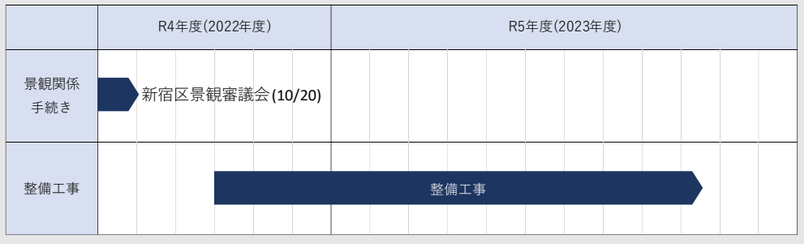
※日常の利用や動線が、災害時の対応にシームレスにつながる防災機能を有する広場空間を計画。

■面積諸元

棟	高さ	階数	主要用途	面積
A 棟	約 14.7m	1 階	店舗	約 450 ㎡
		2 階	公衆浴場	約 510 ㎡
		3 階	公衆浴場	約 490 ㎡
B 棟	約 9.5m	1 階	店舗	約 200 ㎡
		2 階	店舗	約 220 ㎡
C 棟	約 7.85m	1 階	店舗	約 105 ㎡
		2 階	店舗	約 105 ㎡
D 棟	約 7.85m	1 階	店舗	約 105 ㎡
		2 階	店舗	約 105 ㎡
E 棟	約 7.85m	1 階	店舗	約 105 ㎡
		2 階	店舗	約 105 ㎡
管理棟	約 6.1m	1 階	事務所	約 140 ㎡
トイレ棟	約 5.5m	1 階	公衆便所	約 60 ㎡
			施設全体	約 2700 ㎡

※面積は今後の行政協議・計画調整により変更となる可能性があります。

■スケジュール　※変更となる可能性があります。



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

5 | 景観形成の方針

■事業コンセプト

次世代へレガシーとして継承するために、5 つの理念を取組み基本方針として掲げています。国立競技場や明治神宮外苑エリアといった都心部の貴重な緑のネットワークとの連続性を持たせるとともに、旧渋谷川の記憶を継承した水景を形成し、持続可能な「100 年続く本物の杜」創りに挑戦します。また、多様な人、価値観、文化が交流し、新たなにぎわいやコミュニティの拠点となる広場空間の整備・運営を行います。

❶ **多様性・包括性（Diversity & Inclusion）**
…多様な価値観・文化を受容、インクルーシブ社会の実現に貢献

❷ **緑・環境（Green & Ecology）**
…Green Transformationによる都市緑化の推進とグリーンインフラの持続的な運営／地球環境・生態系保全への配慮

❸ **地域社会との持続的関係（Social Partnership）**
…地域社会との連携で社会課題を解決／エリアマネジメントの展開によるシビックプライド醸成

❹ **エシカル思想（Ethical Mind-Set）**
…倫理観（エシカル）を重視した行動・運営・事業推進／公共性・公平性・透明性を自律的に実践

❺ **心身の健康・幸福（Wellness & Well-being）**
…心身の「健幸」を体感する場づくり／ニューノーマル社会に対応した新たな活動・拠点づくり

■建築物の景観規制の方針

■外壁の色調や素材に関する方針

●外苑西通りからの視線・視点を意識するとともに、公園の景観に調和する建物デザイン

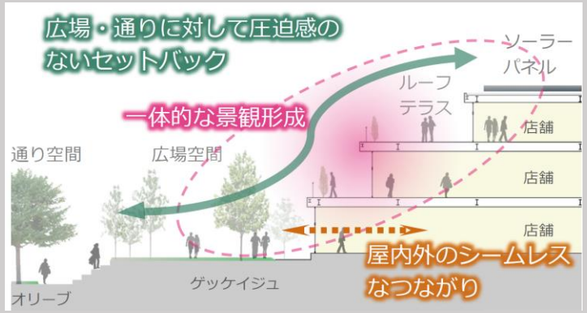
・公園のみどり豊かな環境と調和した色彩・素材を採用

・建築外壁に使用する素材は、木目調等の仕上げとする（自然素材を意識したマテリアル等を採用）

■建物配置に関する方針

●「希望の広場」に開かれたメイン施設配置

・にぎわいと交流ゾーンの南側にメイン棟(A･B 棟)を配置、外苑西通りから広場・杜への視線の抜けを意識し、にぎわいがにじみだす施設配置



●「誇りの杜」の雰囲気に溶け込む建物の分棟化

・建物の圧迫感を軽減するため、複数の建物（C・D･E 棟・トイレ棟）の分棟化を図るとともに、杜と建物が一体となった施設配置

■建築物の壁面位置に関する方針

●メイン棟は周辺住環境への調和・目線に配慮し、セットバックし建築を計画

・外苑西通り側から約 7.2m、古道・勢揃阪側から約 6m、スタジアム通りから約 4mセットバックした計画

・外苑西通り側のセットバックした空間に、遊歩道（みち広場）として調え、敷地境界部のすりつけを図ると共に、街並みとの一体感を形成

■附帯する構造物や施設等の見え方に関する方針

・視覚的に目立たないように、施設周辺の植樹等を計画するとともに、デザインにも配慮する

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

5｜景観形成の方針

■公園（植栽）の景観形成の方針

■広域的にみた本公園の杜の位置づけ：周辺の緑と緑地帯を形成する『誇りの杜』

●グリーンネットワークとしての杜づくり

皇居から神宮内苑、代々木公園に至る緑地帯を形成し、生物多様性に貢献し得る東京のグリーンネットワークとして、計画を位置づけます。

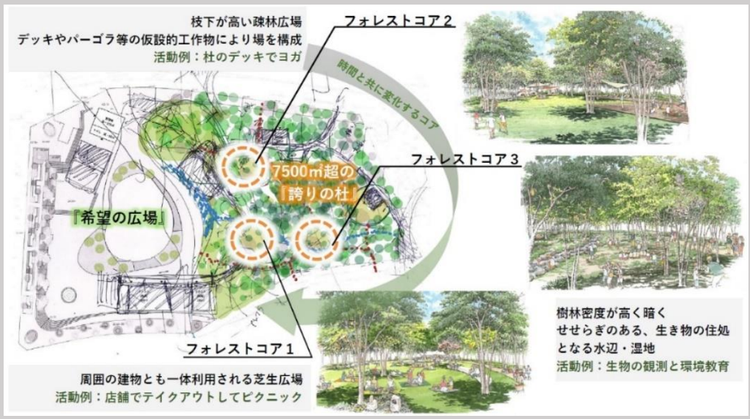
●人と深い関係性を育んだ地歴の継承

水野和泉守屋敷に見る池とその周辺の環境から伺える谷型地形や葛飾北斎「青山円座松」にみる自然と人の共生のイメージを踏襲し、守り維持するだけでなく共に歩む場としての杜を創ります。

■『誇りの杜』の基本的な考え方：

杜づくりのプロセスが人、生き物、まちをつなぐ持続可能な仕組み（フォレストコアの考え方）

杜を健全に保つため、管理と自然の生育を組み合わせた“時間の経過と共に変化する生態ゾーン”を「フォレストコア」として位置づけ、形成を促します。杜に現われる複数のフォレストコアは、人、生き物、あるいは建築やまちとの関わり方をデザインすることにより、杜づくりの新たな指標とします。



エコロジカル・ネットワーク（生態系ネットワーク）の形成と育てる杜づくり

●東京農業大学・濱野教授を「杜の指南役」とした生態系に配慮した杜づくり

生物多様性の確保を目指し、できる限り広く森を確保し、多階層構造の樹林の形成や鳥や昆虫が好む植物の選定、好適湿性の鳥類やトンボ類を呼ぶための水辺環境など、生き物が好む環境を創ります。代表構成団体と協働実績がある濱野教授と共に、杜の持続的な運営システムを創る計画とします。

●完成された杜ではなく、時間をかけて育てていくハーフメイドの杜づくり

武蔵野雑木林をイメージした常緑・落葉混合林とするとともに、周辺の環境条件に適した在来種を選定します。また、植樹エリアの分散、伐採時期などにより、多様な環境を創り、様々な都民活動を促します。本来ここにあった自然環境を取り戻しつつ、それを維持する仕組みも含めた杜を創ります。

5 ｜景観形成の方針

■植栽等配置の方針

■水辺（RAINGARDEN＋せせらぎ）

・好適湿性（水辺）を好む生きものが集まるような環境に配慮した樹種の選定と配植
【樹種】
高木：ハンノキ、ミズキ等
低木：ネコヤナギ、ヤマハギ等
地被類：ミソハギ、ミズヒキ、ハンゲショウ等

■既存樹イチョウ

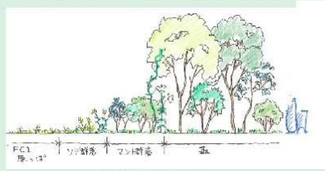
・敷地内にある既存のイチョウ2本は存置、ゲート性を持たせ公園に取り込む
・植栽桝を設置し、足元の植栽はJOC側植栽地と同じ樹種を選定
【樹種】
高木：イチョウ2本（存置）
低木：アオキ、アジサイ
地被類：ツワブキ、
斑入りヤブラン、フッキソウ、
ベニシダ等

■Dゾーン：誇りの杜（使いこなす杜）

・武蔵野の雑木林をイメージとした地域に適した樹種の選定
・常緑樹と落葉樹混交林（常緑：落葉＝3：7を目安）
・見通しを確保した明るい林床の杜を整備
・様々なアクティビティ等に対応した芝生広場や遊び場空間を確保
【樹種】
高木：イヌシデ、アキニレ、コナラ等
低木：サンシュユ、ノリウツギ、ガマズミ等
草本：ホタルブクロ、オミナエシ、ユウガギク、ノシバ等

■Eゾーン：誇りの杜（使いこなす杜・育てる杜）

・武蔵野の雑木林をイメージとした地域に適した樹種の選定
・常緑樹と落葉樹混交林（常緑：落葉＝3：7を目安）
・杜を囲む園路から奥への視認性を確保した中低木類等の配植
・生きものに配慮した多階層構造の杜づくり
・都民協働の杜づくりに配慮した植樹エリアを確保し、植樹祭等のイベントによる苗木を植樹
【樹種】
高木層：イヌシデ、クヌギ、コナラ、アカガシ等
亜高木層：クロガネモチ、ヤブツバキ等
低木層：ウツギ、ヤマツツジ、リョウブ等
草本層：ヒメカンスゲ、ツワブキ、ヤブラン等



〈林縁部のイメージ〉

〈多階層構造の杜イメージ〉

■Aゾーン（ステップガーデン）

・地元の方が幼少期に描いた渋谷川のスケッチに基づき、かつての渋谷川の記憶として、ほぼ同様の位置に大ケヤキ3本を植栽
・外苑西通りの仙寿交差点、道路を挟んだ反対側にある仙寿院、江戸時代には桜の名所で賑わっていたことから、その時代を思い馳せるよう、数種類のサクラを植栽
・斜面の緑地は渋谷川の土手をイメージした地被類を植栽
【樹種】
高木：ケヤキ、エドヒガン、オオシマザクラ、
シダレザクラ、ベニシダレザクラ、ヨウコウザクラ、
ヤマザクラ等
地被類：コウライシバ、イトススキ、チカラシバ、ベニチガヤ等

■樹齢1000年オリーブ（移植）

・計画地の南側にある竜巌寺にかつてあった松の名木の「円座の松（笠松）」をモチーフとした樹形に見立てオリーブを移植
【樹種】
高木：オリーブ（H=4.5m　C=3.9m）

江戸名所図会_竜巌禅寺

■Bゾーン

・隣接する民間マンション前の通路との連続性を考慮した樹種の選定
・勢揃坂から正面のエントランス部にはゲート性のあるシンボル樹を植栽
【樹種】
高木：アラカシ（株立）

■Cゾーン（希望の広場）

・芝生は天然芝とし、イベント利用を考慮し耐圧基盤土壌とする
・広場を囲むデッキ上には緑陰樹を植栽
【樹種】
高木：ケヤキ
地被類：天然芝＋耐圧基盤

■希望の広場のシンボル樹

・競技場で開催されるスポーツ競技への勝利祈願のシンボル樹として、勝利と栄光のシンボルであるゲッケイジュを植栽
【樹種】
高木：ゲッケイジュ

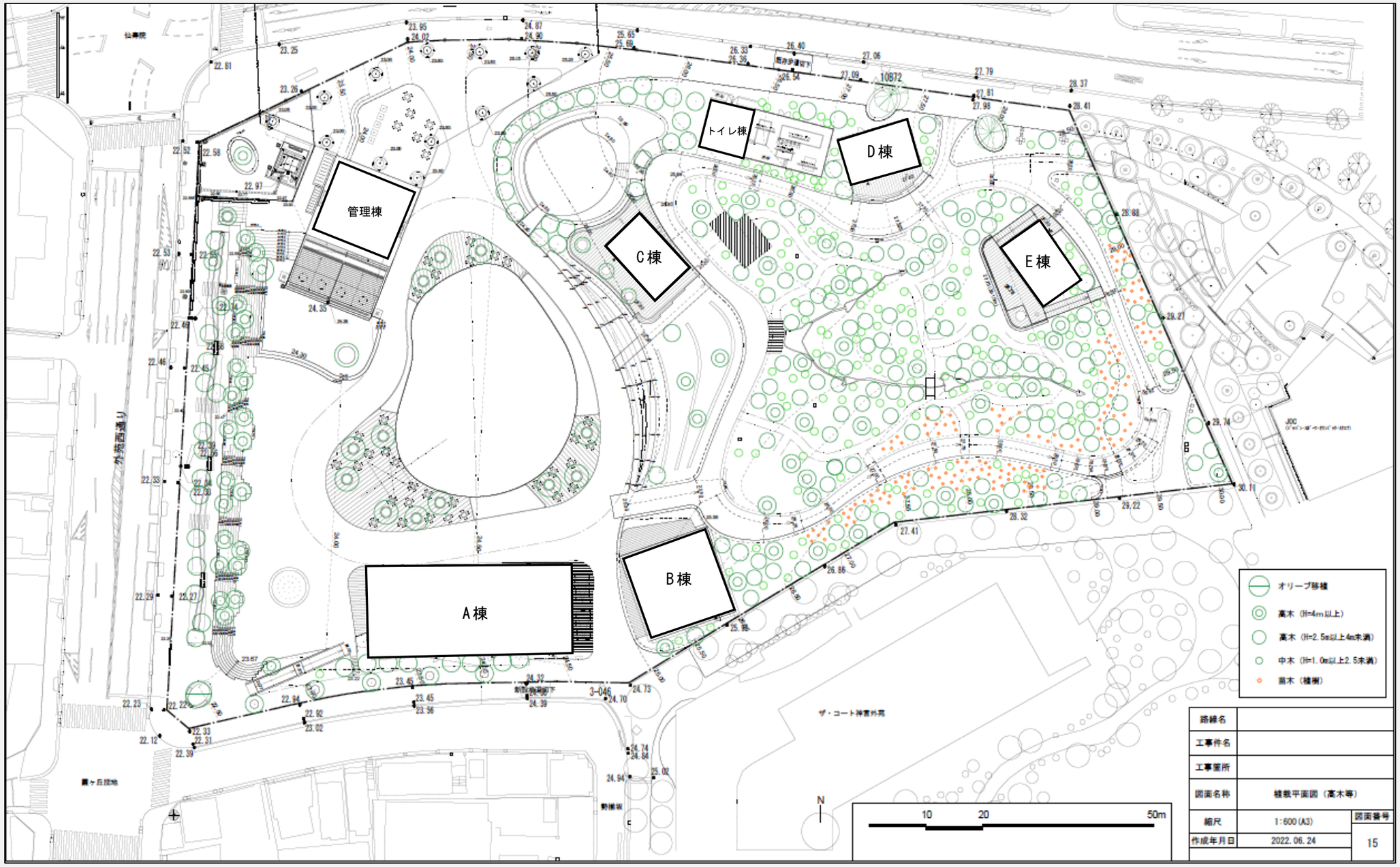
■Fゾーン

・杜のしみだしをイメージとし、基本的Eゾーンと同じ樹種を選定
・店舗との一体的な賑わい空間として、彩りのある低木や地被を選定
【樹種】 高木：ソヨゴ、イロハモミジ、エゴノキ等
低木：ヤマツツジ、アセビ、ミツマタ、リョウブ等
草本：オミナエシ、ギボウシ、ホタルブクロ等

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

５｜景観形成の方針

■植栽平面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

5｜景観形成の方針

■水系（雨水）の景観形成の方針

■渋谷川水景の継承について

①土地の記憶：かつての渋谷川の水源の一部は、数多くの大名庭園がその役割を担っていました。本計画地においても、敷地東側が水野和泉守下屋敷跡の一部にあたり、明治期以後は近衛歩兵第四連隊の「錦紫池」にみる池・沢等として引き継がれました。このような渋谷川流域における“水を活かための谷地形としてのポテンシャル”の継承は、新たな公園づくりにおいて重要であると捉えています。

※参考文献（1）より引用

※参考文献（2）より引用

※参考文献（1）より引用

②地域の記憶：渋谷川が暗渠される以前、地域の人々の記憶に残る牧歌的であった景観像を現在の街のライフスタイルと重ね合わせながら、次の世代に引き継ぐことができる新たな公園デザインとして、往時の渋谷川をオマージュした水景デザインへと昇華させます。

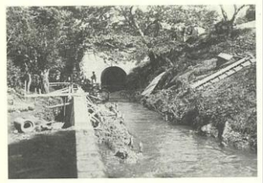


写真45　昭和７年、外苑橋付近の渋谷川
奥にみえるのが外苑橋。護岸が改修される以前の渋谷川上流には、昭和に入ってもまだ郊外の自然な雰囲気が残る場所があった。（東京都建設局所蔵）

▲外苑橋付近、流れと草土手

※参考文献（1）より引用

昭和７年　現在の新国立競技場付近（都建設局所蔵）

▲国立競技場付近、流れと護岸

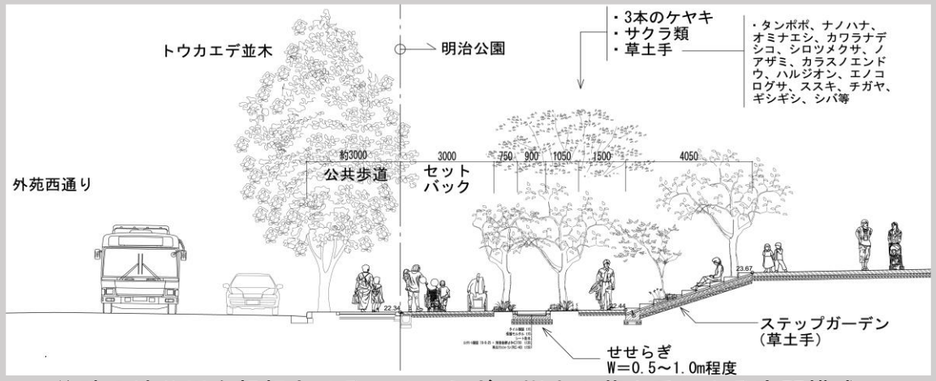
※参考文献（3）より引用

▲地域の方が描いた、中霞橋から千原橋方向を望む
本計画付近、直線的な流れ、草土手、大ケヤキ、情景等

※参考文献（4）より引用

■場の特性を生かした渋谷川再生の現代的意義～グリーンインフラとして

新たな地形の谷筋には、せせらぎを設け、所々に堰き止めたられた池の周りには、ウェットな森林生態環境を創出します。かつての水野和泉守の池泉が渋谷川へと通じていた記憶の継承でもあります。せせらぎは、雨水排水路の機能も兼ね、斜面法尻部には『レインガーデン（雨水浸透緑地帯）』を設けます。



▲往時の渋谷川を想起させる、せせらぎ＋樹木＋草土手による空間構成

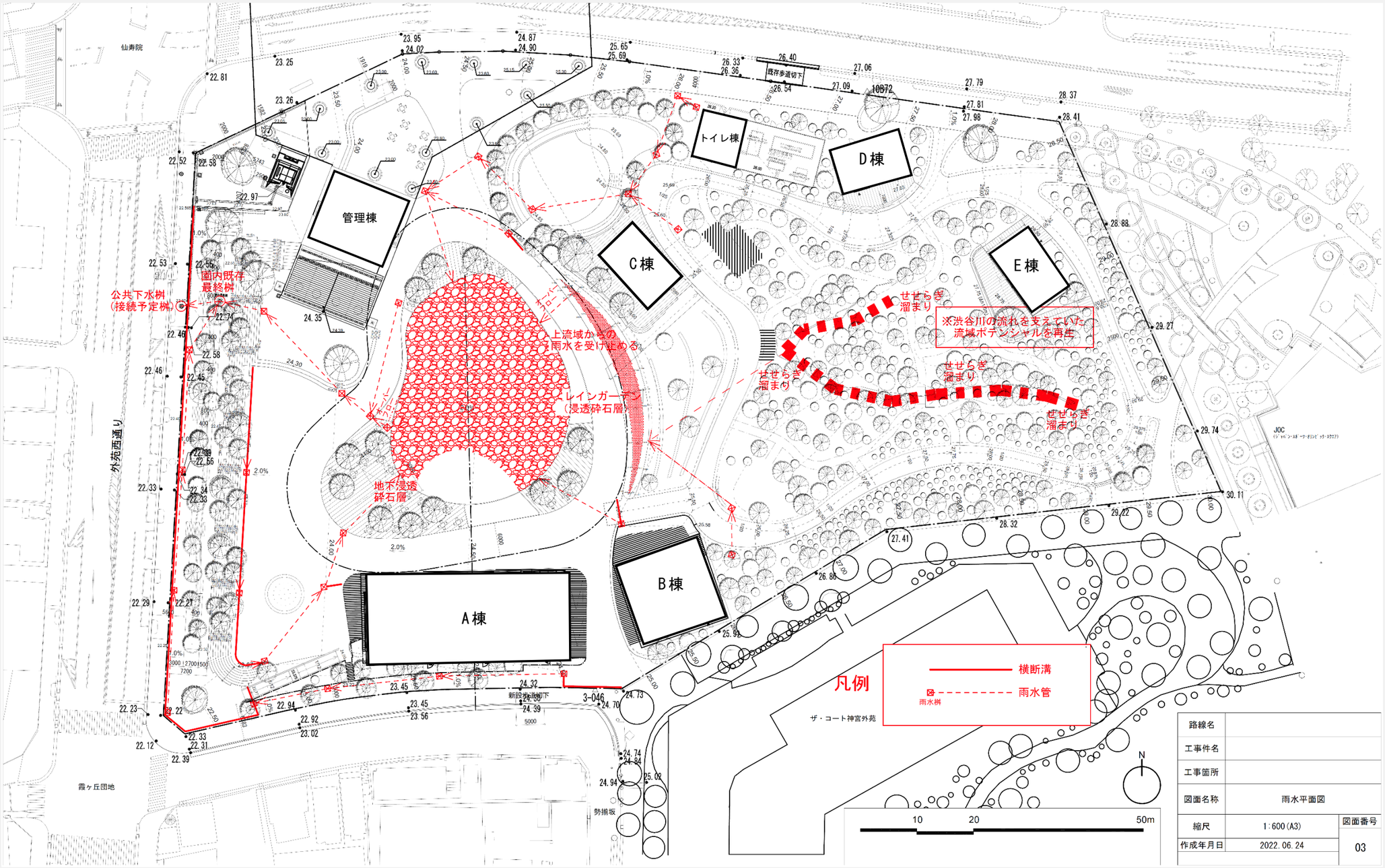
参考文献

（1）田原光泰,「春の小川」はなぜ消えたか-渋谷川に見る都市河川の歴史-,之潮（コレジオ）,2011,P20,P141,折込地図
（2）（有）菁映社他,大江戸今昔めぐり
（3）東京新聞 TOKYOWeb　渋谷川の今と昔を写真で見比べる　区郷土博物館　地図や断面図と共に　2019.6.4
（4）BuzzFeedNews　2021 年回顧,BuzzFeedNews ホームページ 2021.12.31

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

5 | 景観形成の方針

■水系（雨水排水）計画図

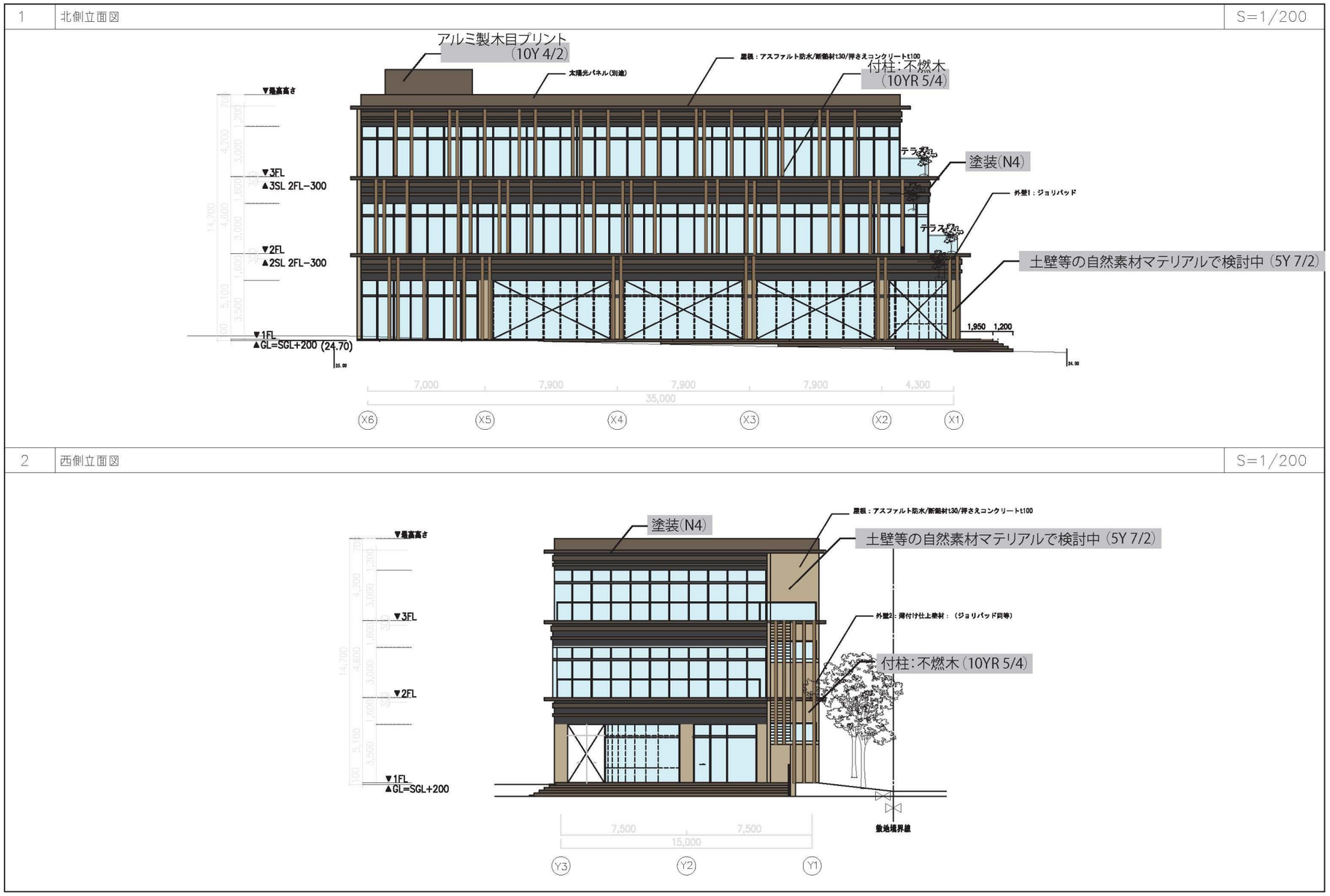


※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

色、素材を検討中

■A 棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

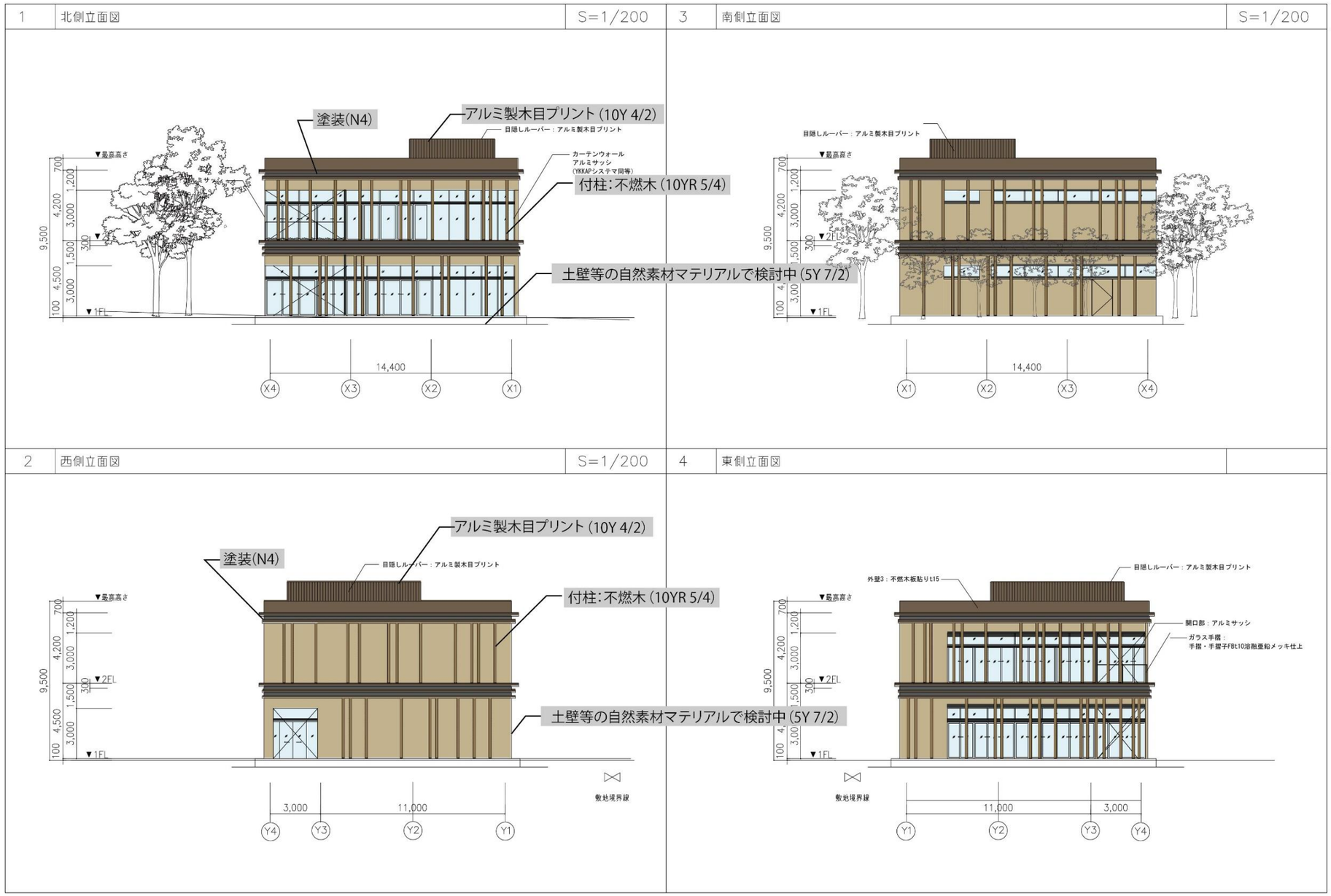
6｜着色立面図

■A 棟立面図

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

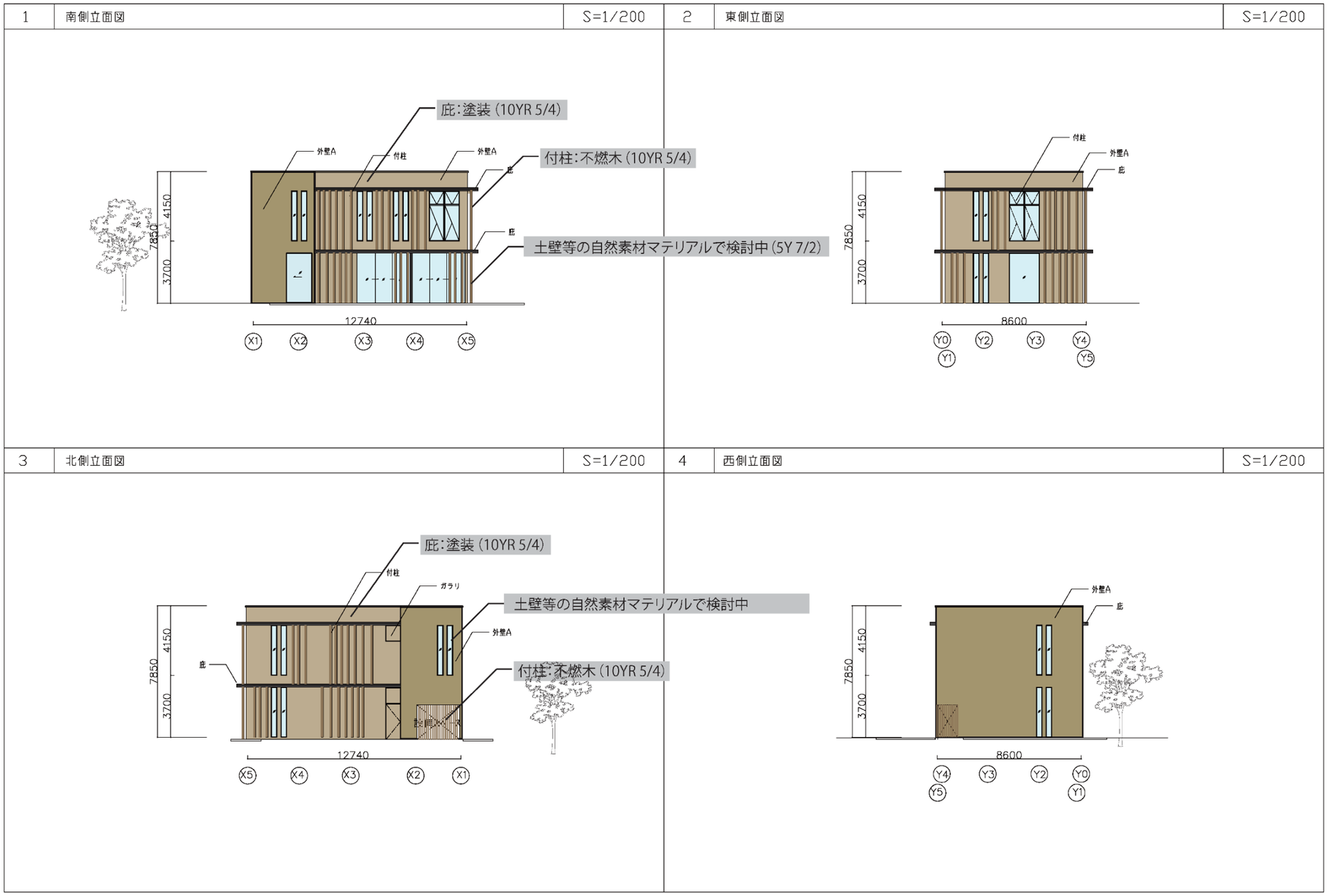
■B 棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

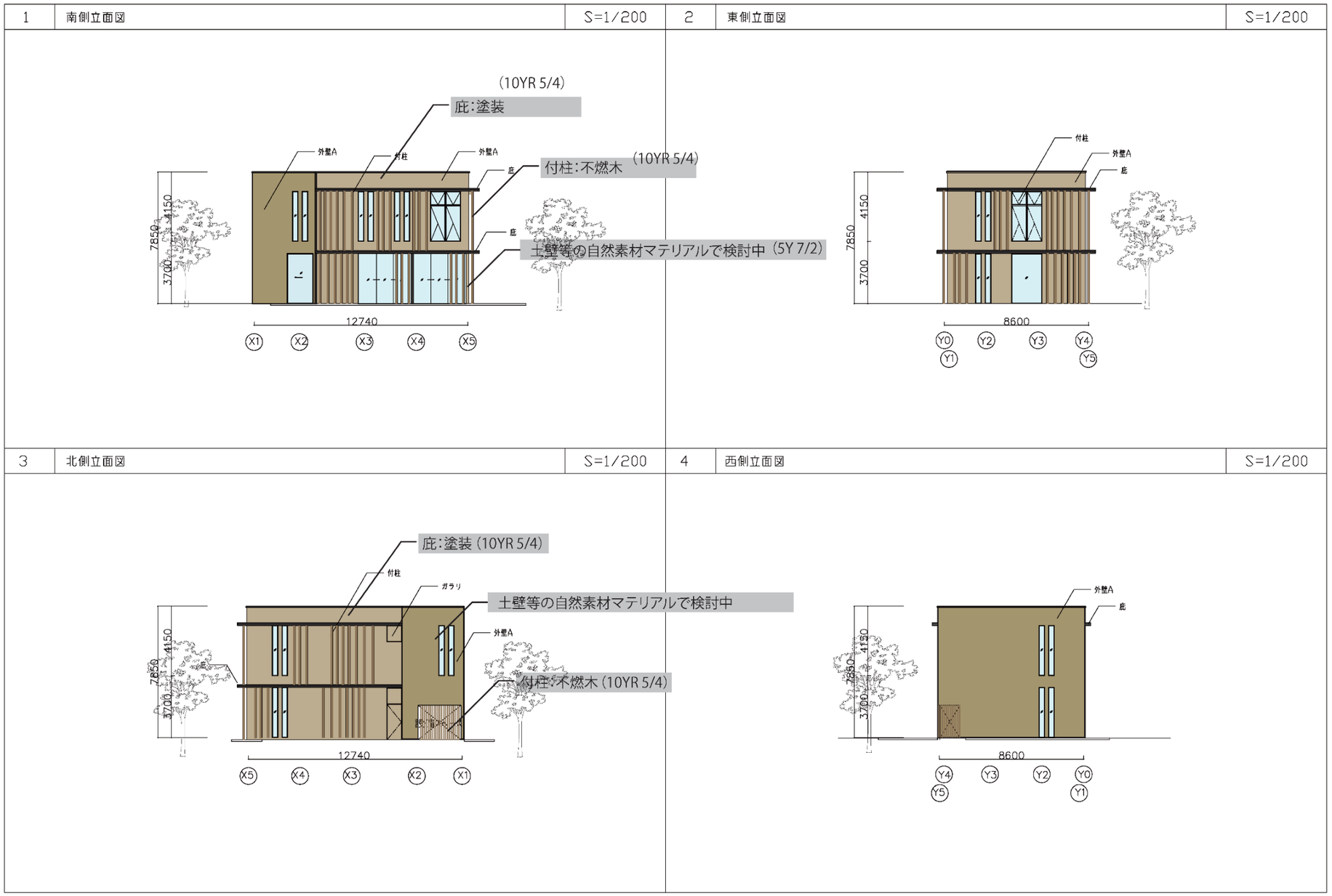
■C 棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

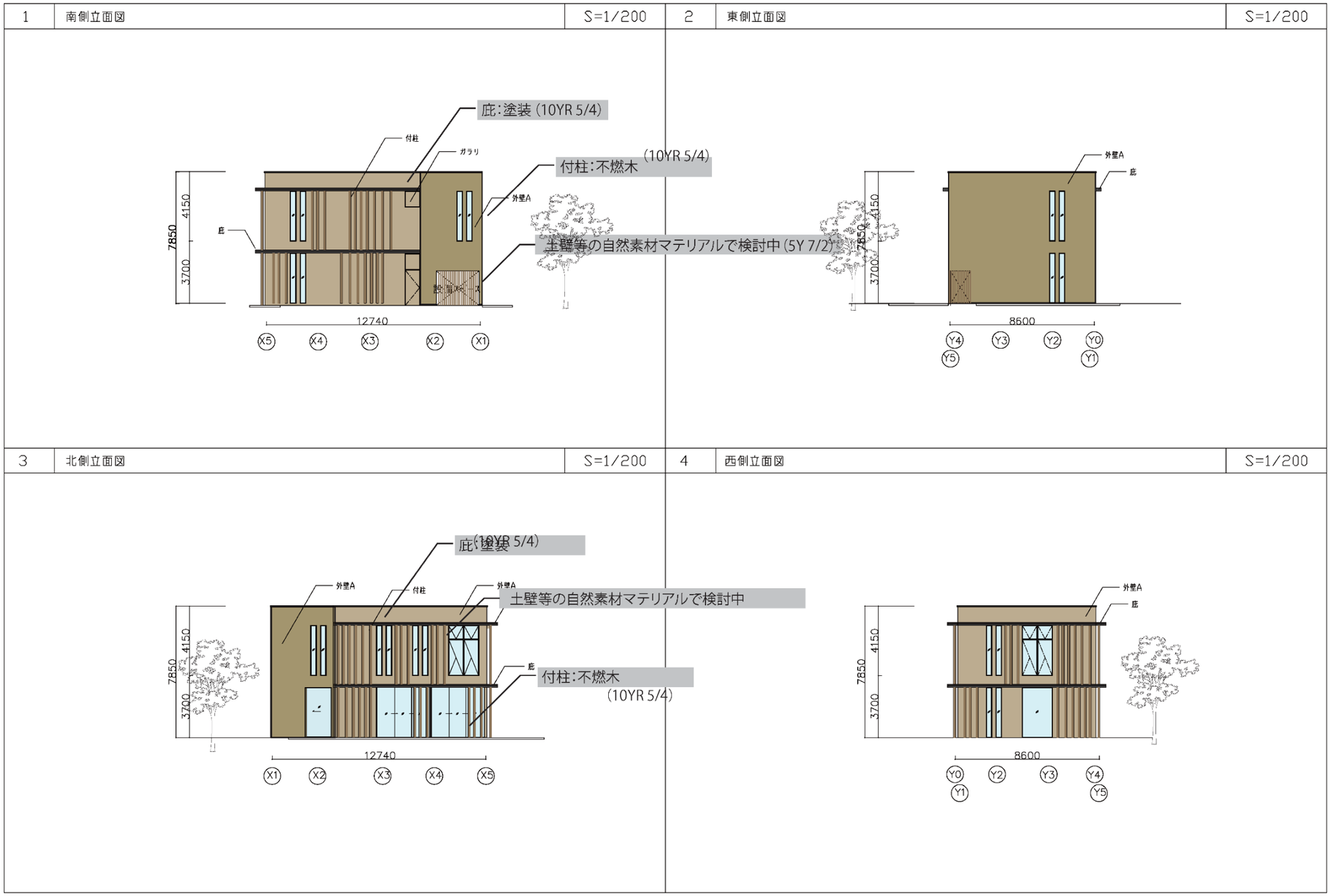
■D 棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

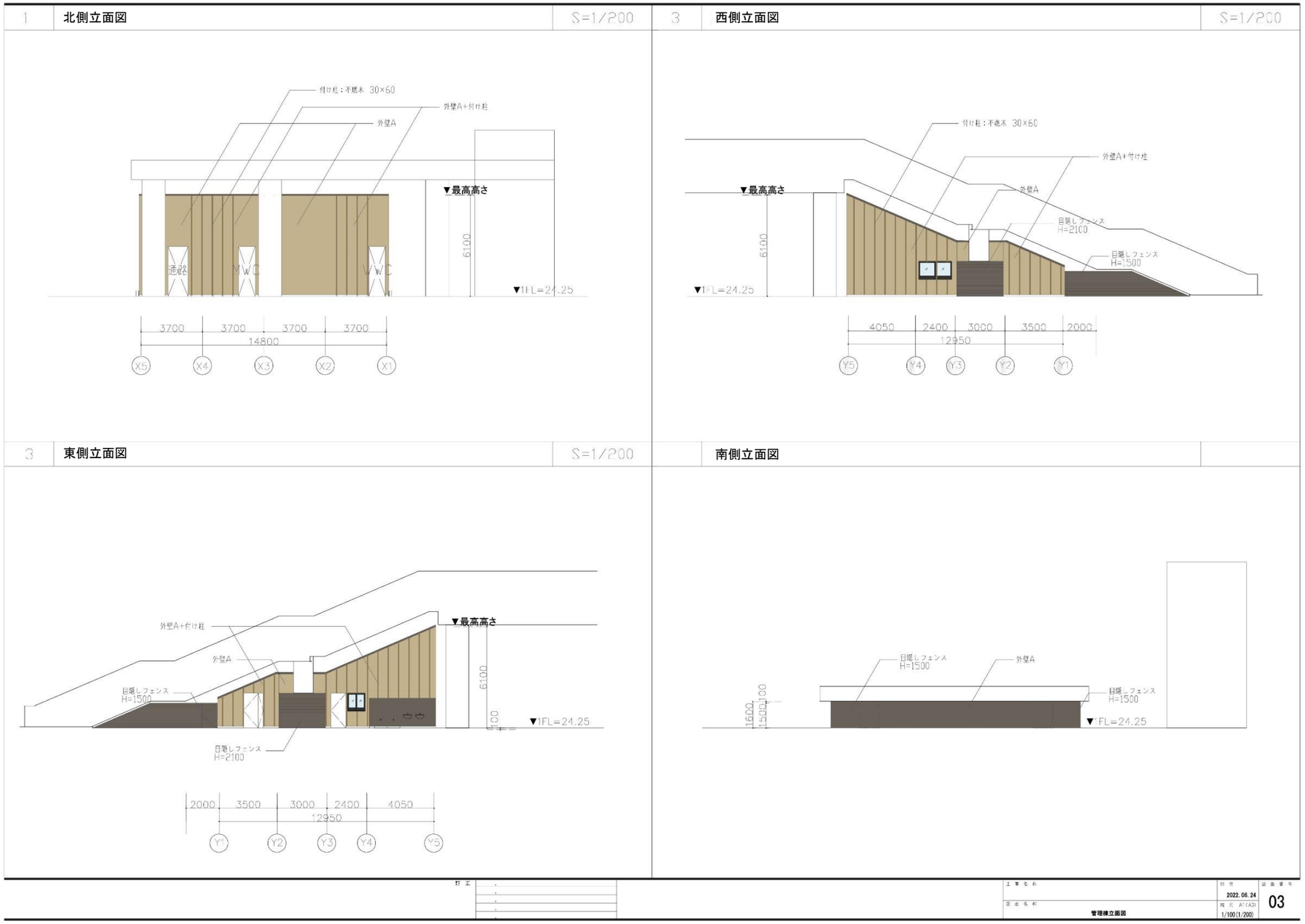
■E 棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

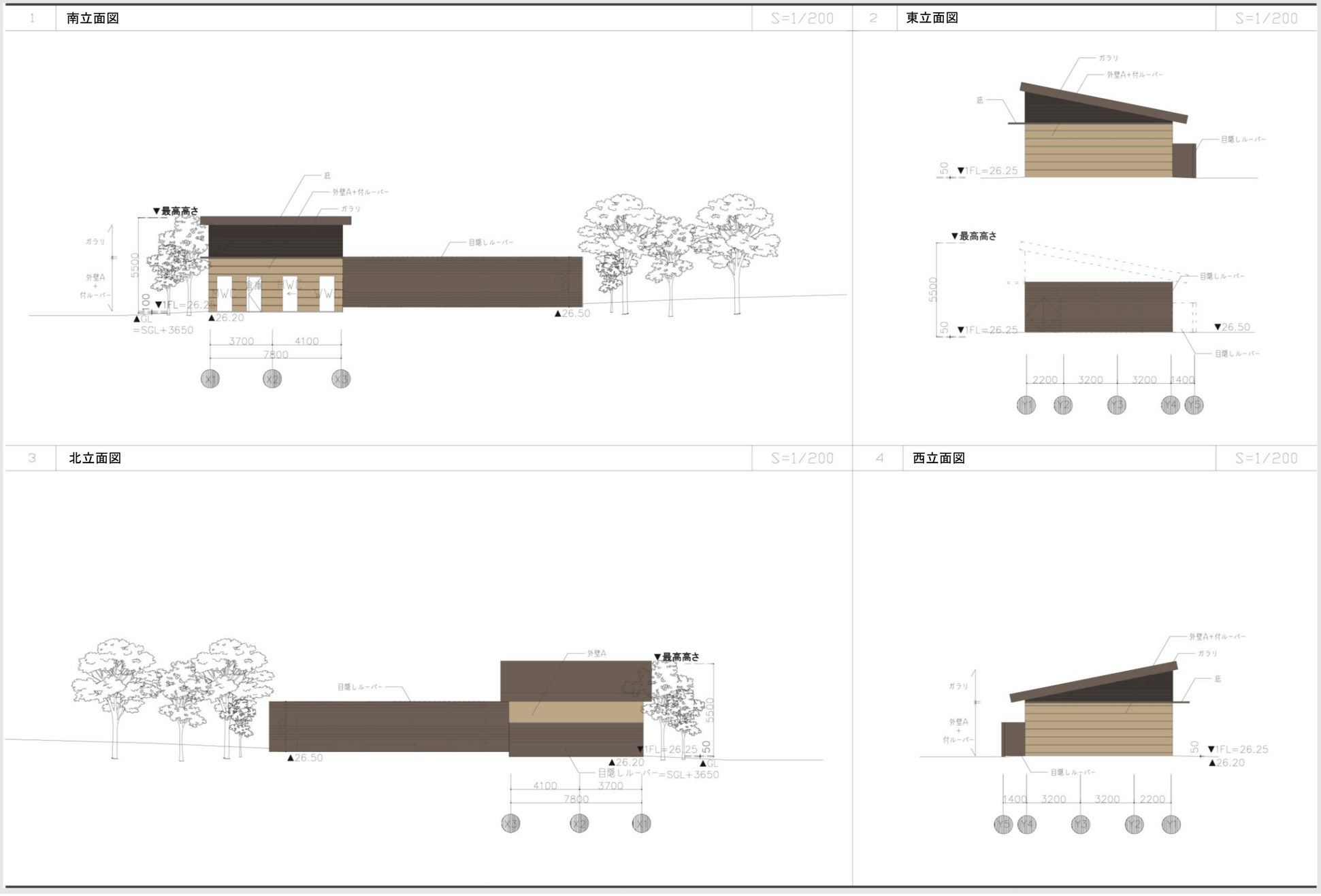
■管理棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

6｜着色立面図

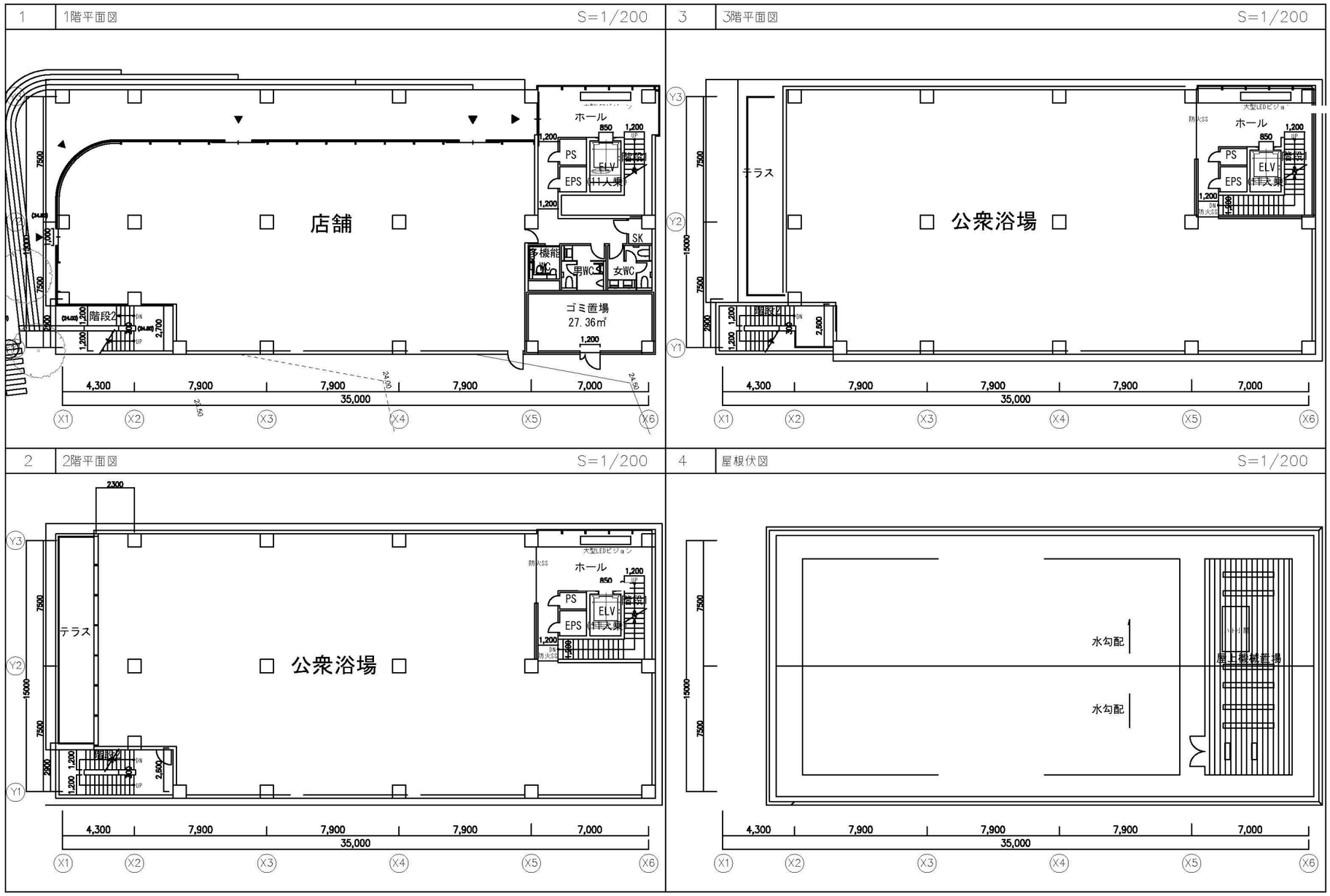
■トイレ棟立面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

7 ｜平面図

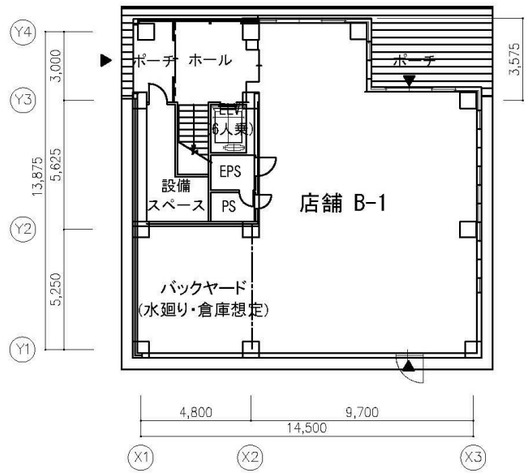
■A 棟平面図


1
1階平面図
S=1/200
店舗
ホール
PS
EPS
ELV
SK
男WC
女WC
ゴミ置場
27.36㎡
階段2
3
3階平面図
S=1/200
テラス
公衆浴場
ホール
階段1
2
2階平面図
S=1/200
テラス
公衆浴場
ホール
4
屋根伏図
S=1/200
水勾配
水勾配
4,300
7,900
7,900
7,900
7,000
35,000
X1
X2
X3
X4
X5
X6
Y1
Y2
Y3

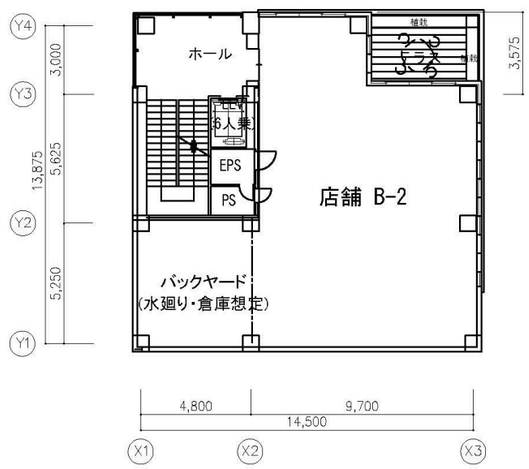
7 | 平面図

■B 棟平面図

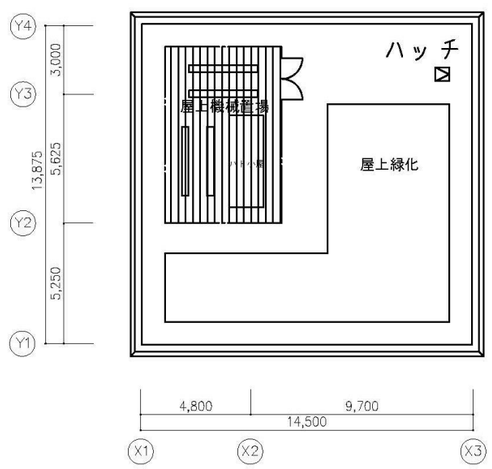
1 1階平面図 S=1/200



2 2階平面図 S=1/200



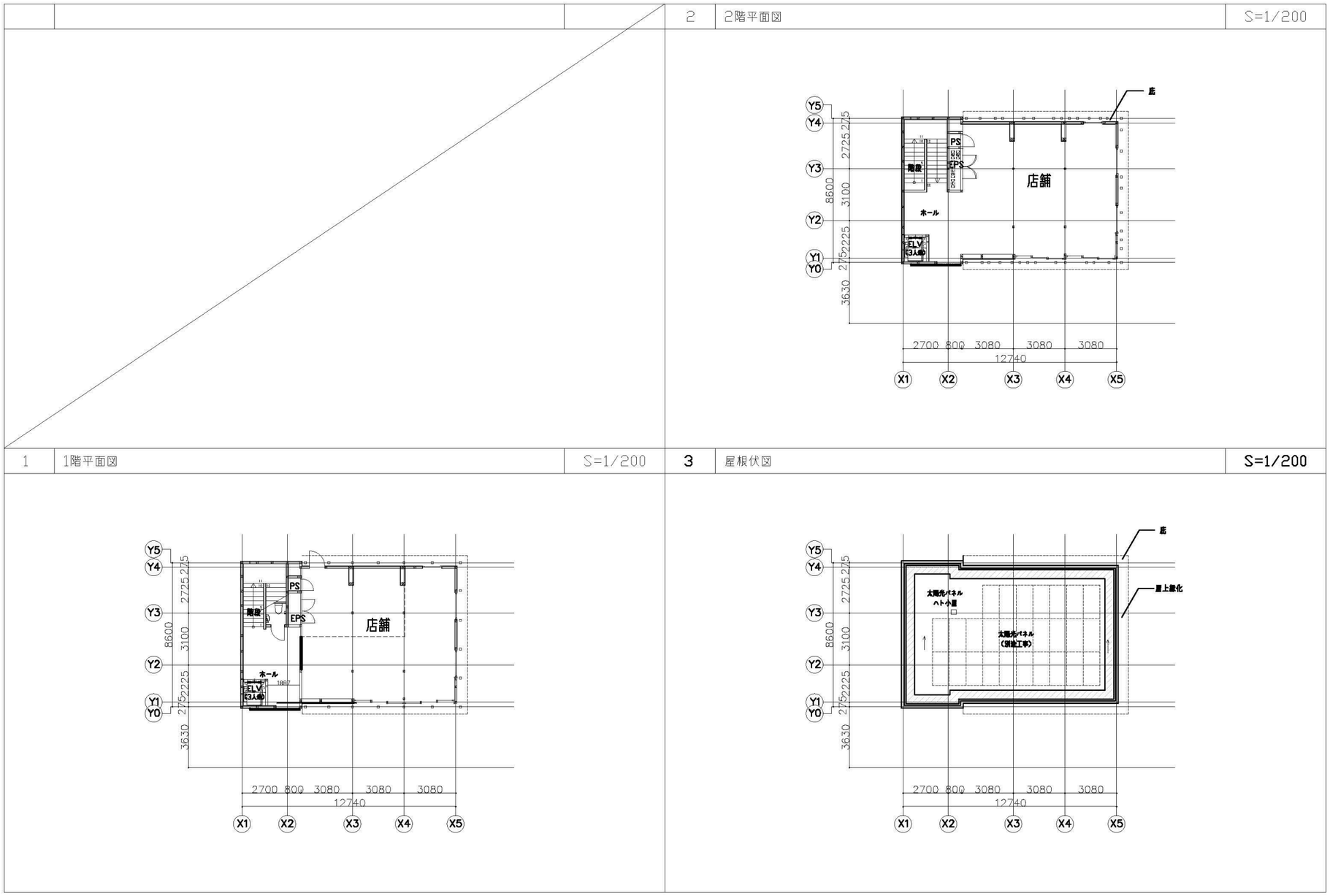
3 屋根伏図 S=1/200



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

7 | 平面図

■C 棟立面図

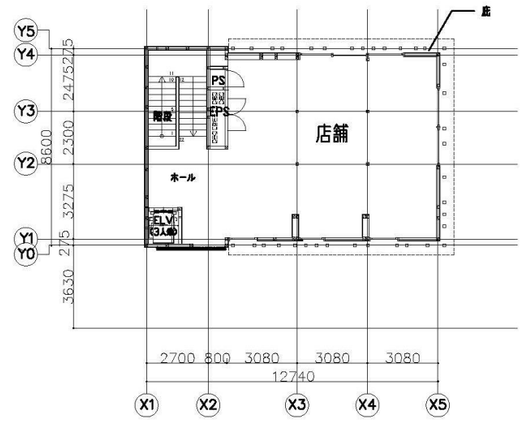


※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

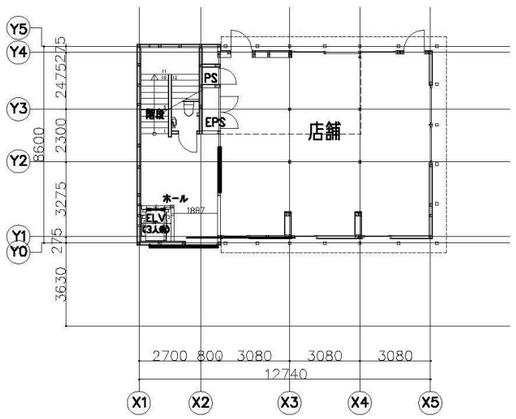
7 | 平面図

■D 棟平面図

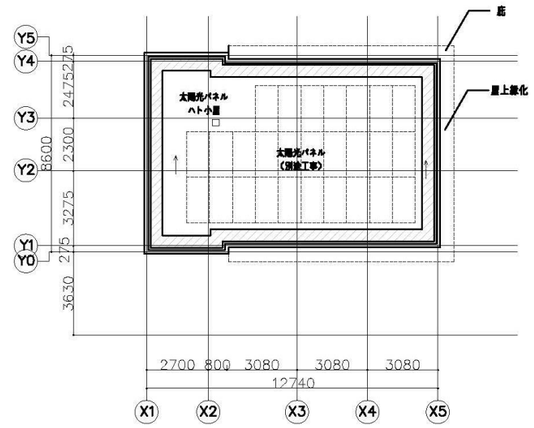
2 2階平面図 S=1/200



1 1階平面図 S=1/200



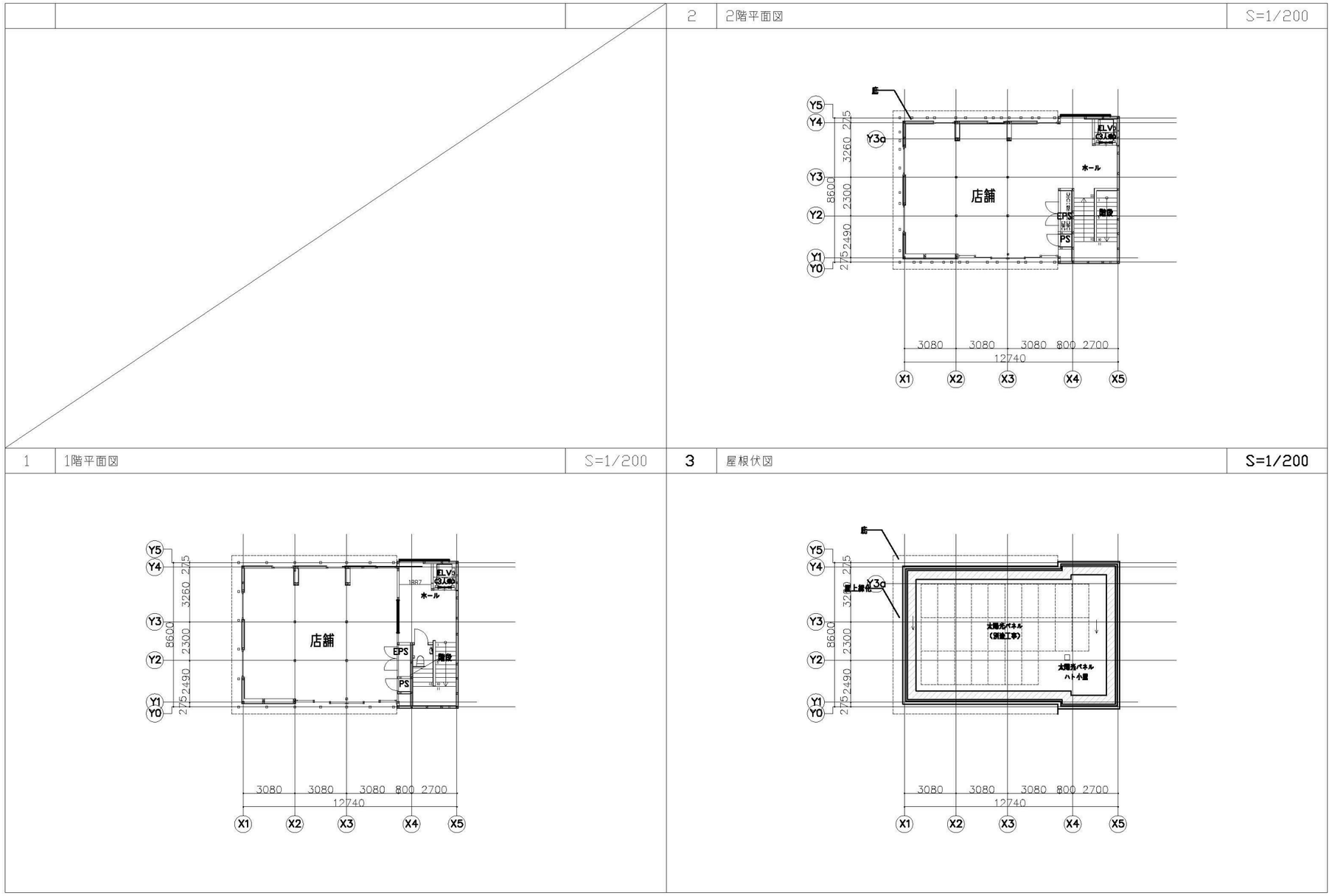
3 屋根伏図 S=1/200



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

7 | 平面図

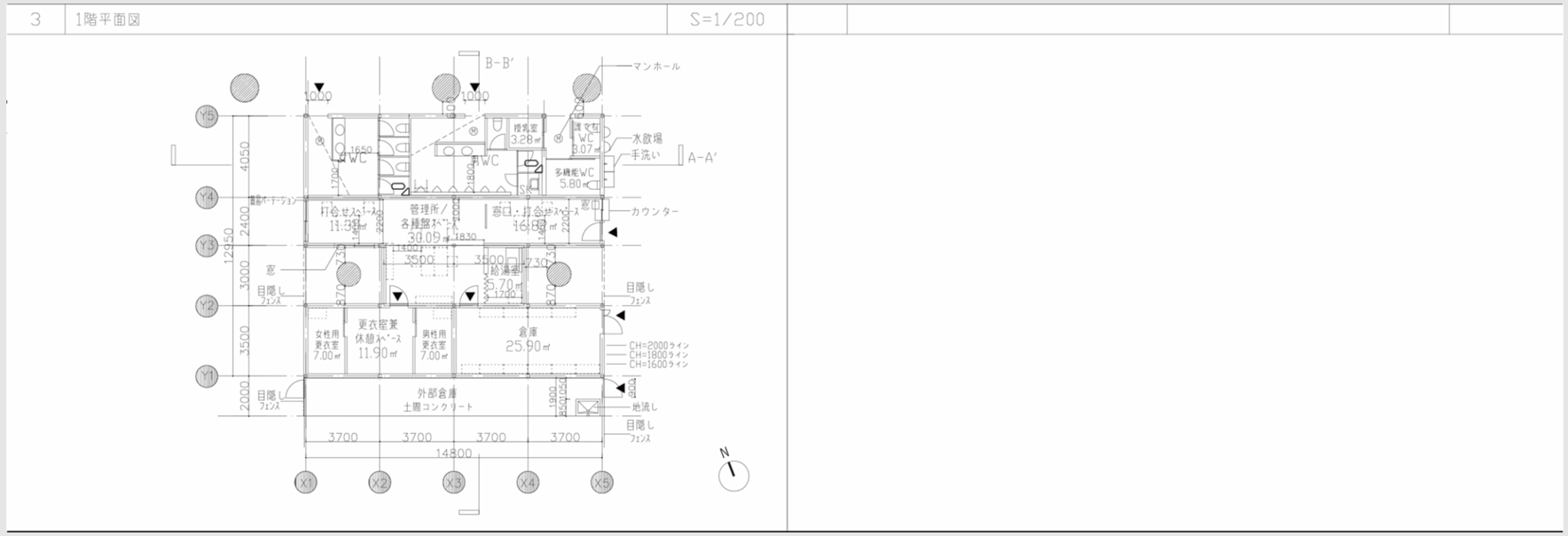
■E 棟平面図



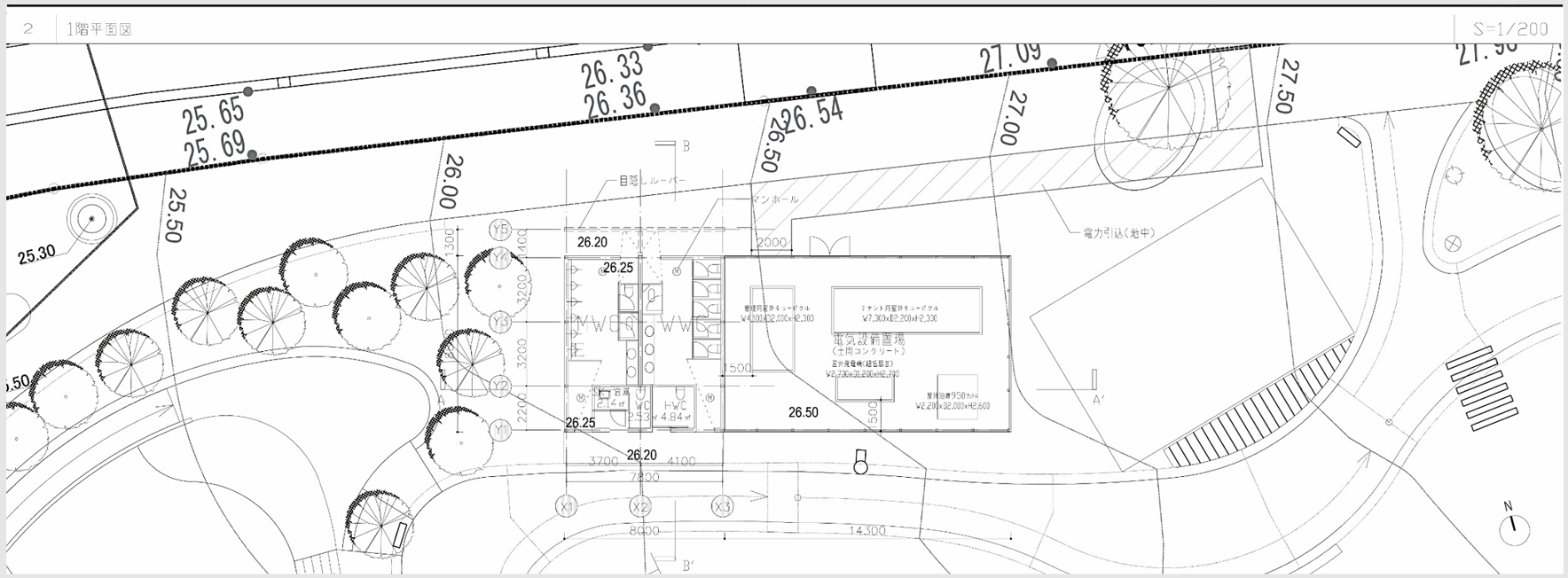
※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

7 ｜平面図

■管理棟平面図



■トイレ棟平面図



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

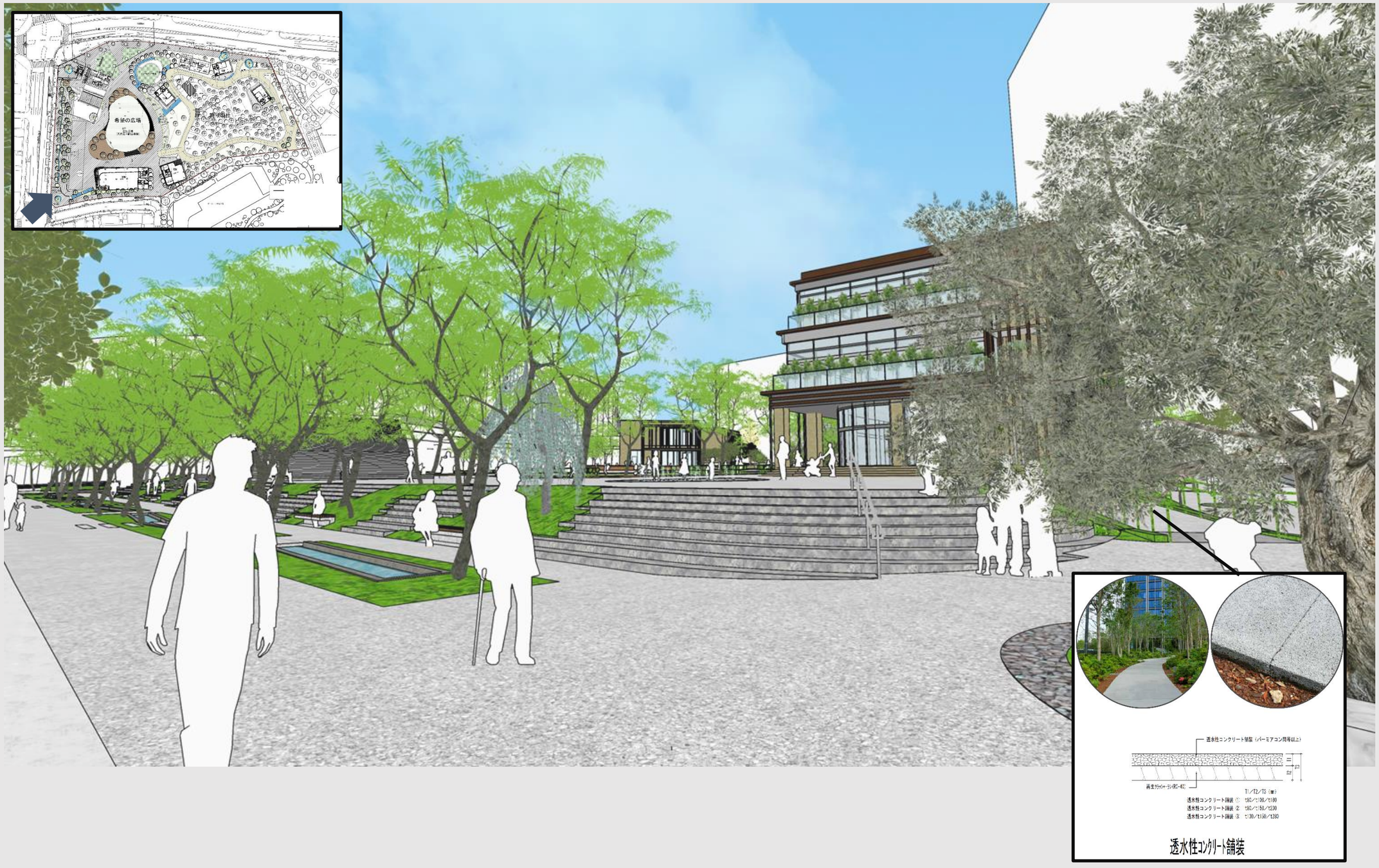
8｜参考イメージパース（鳥瞰）

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

8｜参考イメージパース（デッキ上）

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

8｜参考イメージパース（公園入口：南西）



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

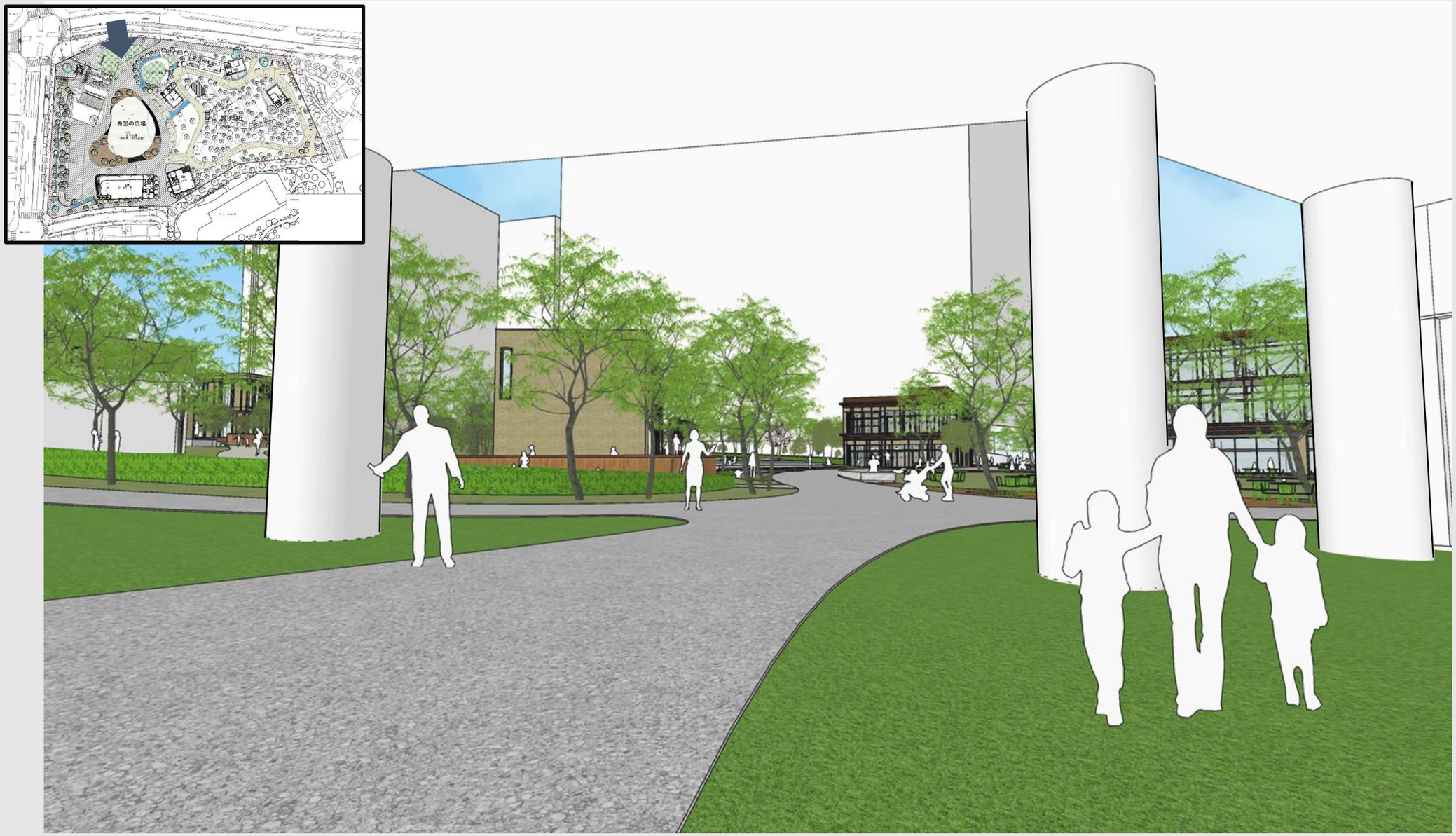
８｜参考イメージパース（公園入口：南）

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

８｜参考イメージパース（南面歩道部分）

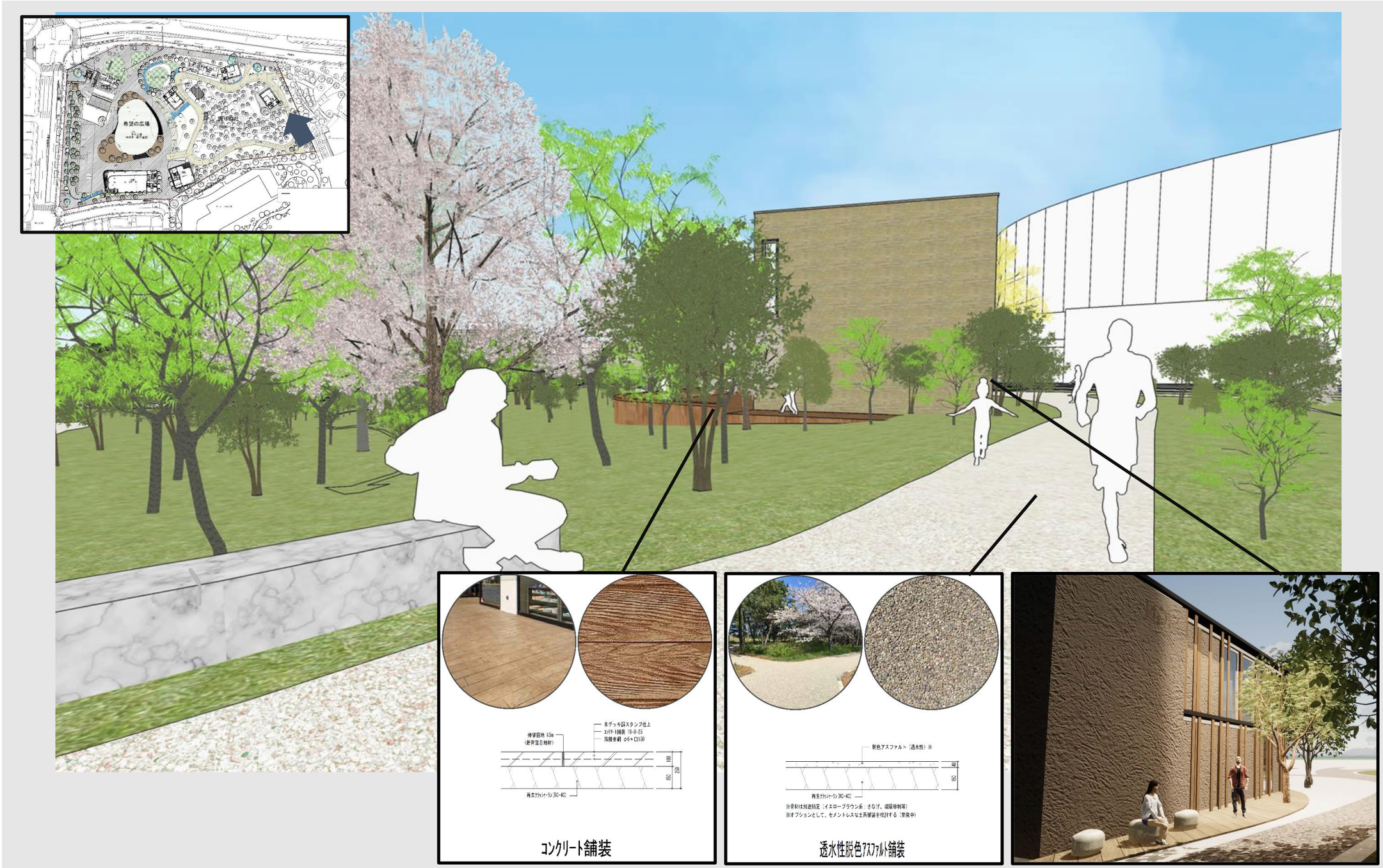
※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

8｜参考イメージパース（デッキ下）



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

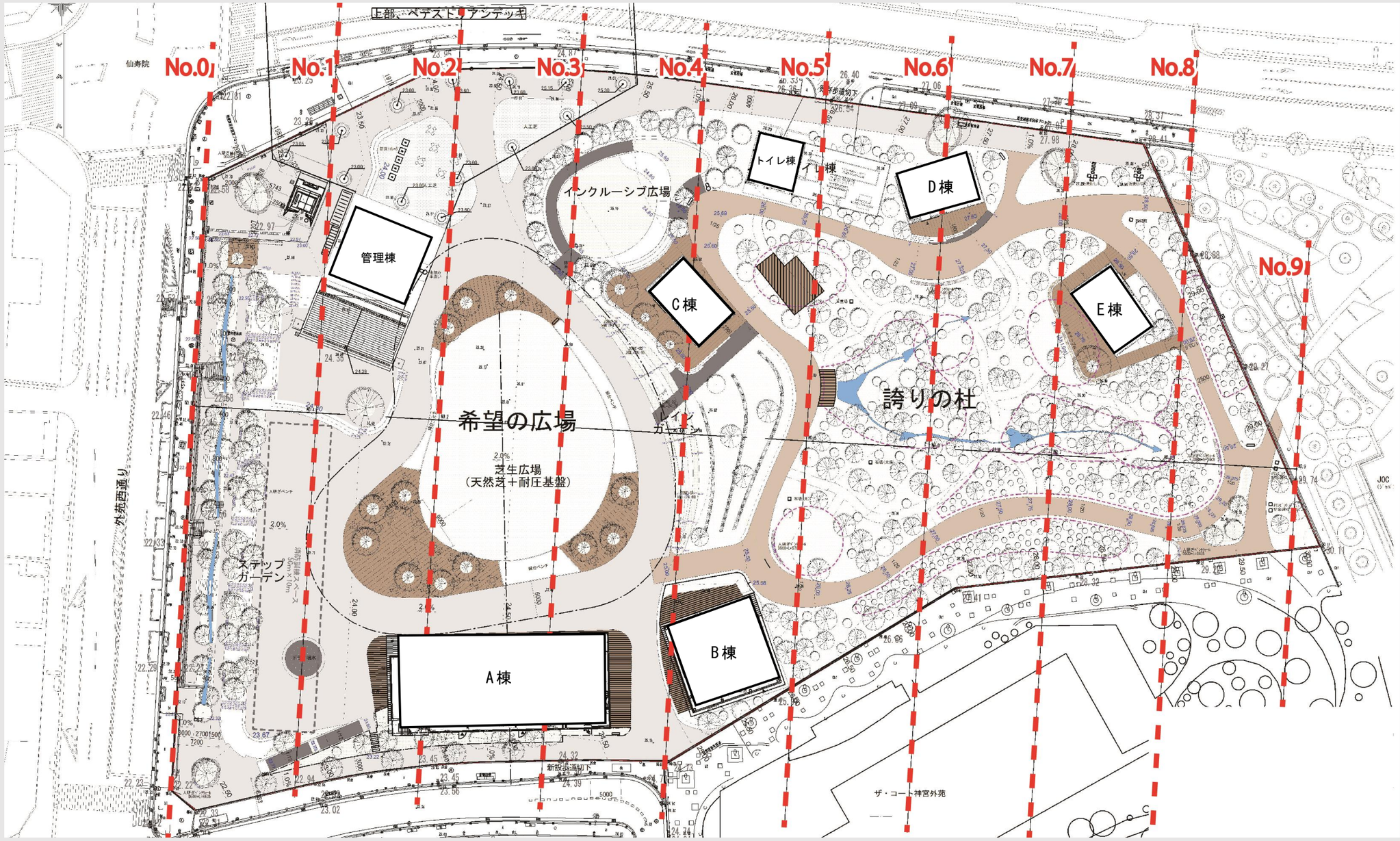
8 ｜参考イメージパース（園路）



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

9｜造成計画図

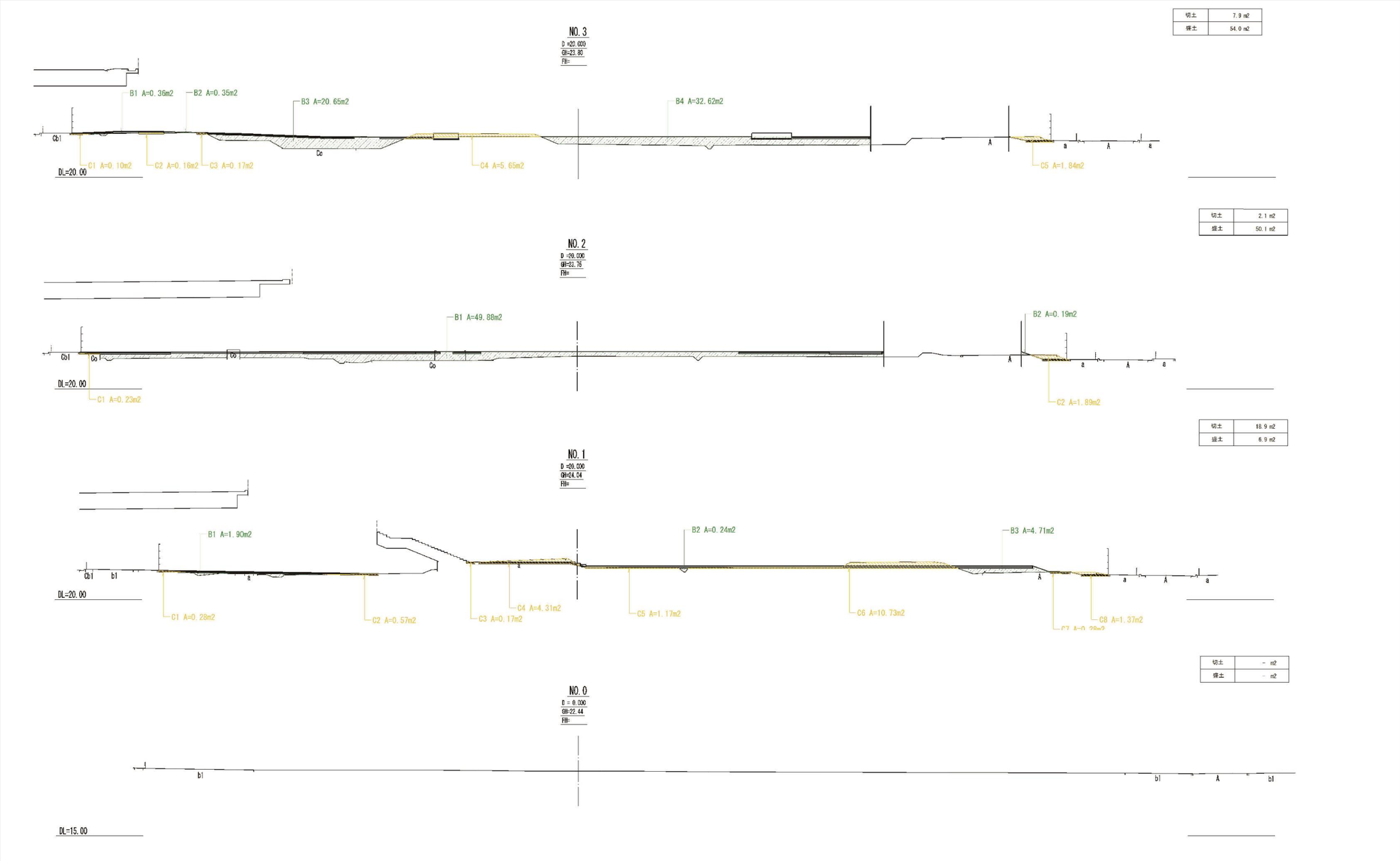
■造成断面ライン



※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

９｜造成計画図

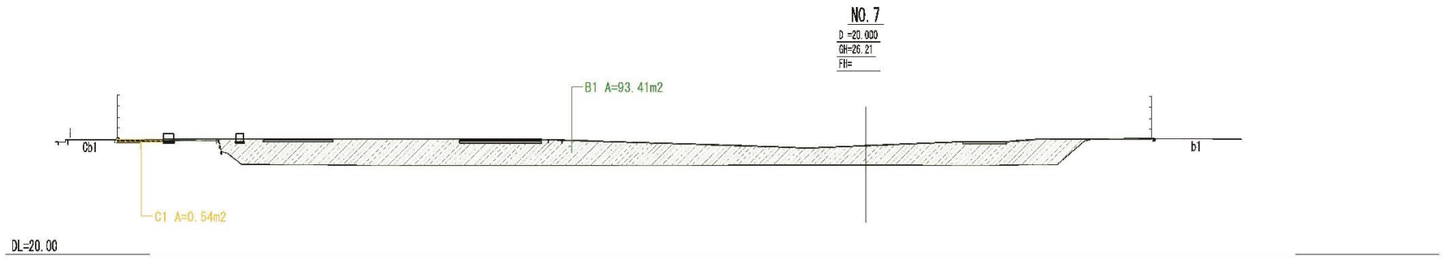
■造成断面図（０～３）



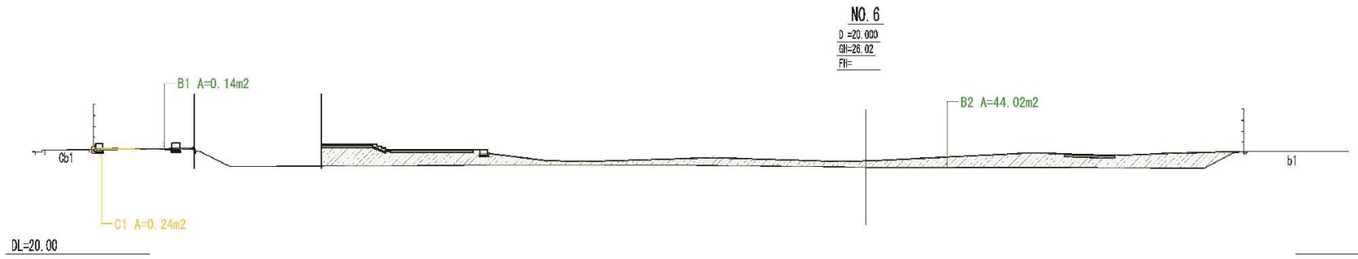
※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

９｜造成計画図

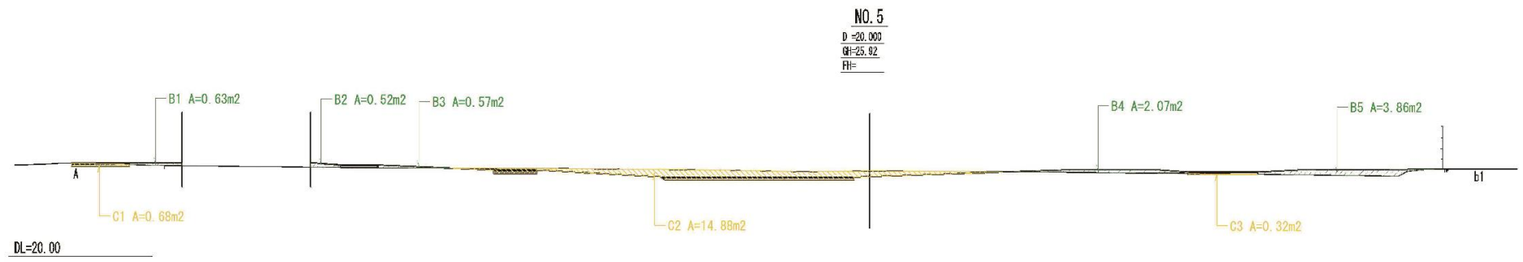
■造成断面図（４～７）



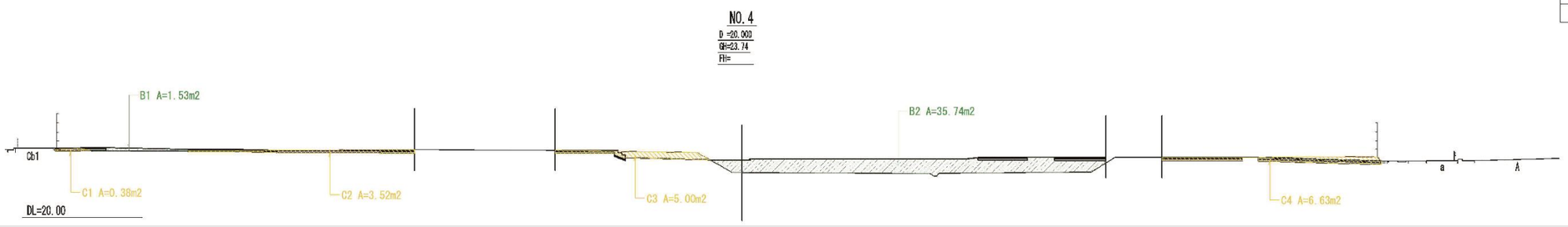
切土	0.5 m2
盛土	93.41 m2



切土	0.2 m2
盛土	44.2 m2



切土	15.9 m2
盛土	7.7 m2

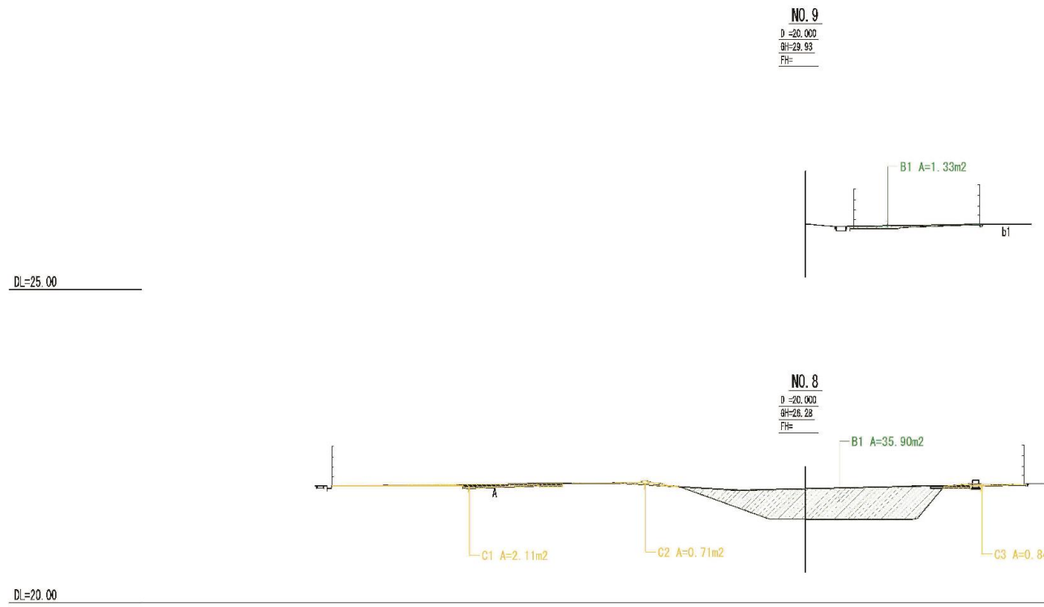


切土	15.5 m2
盛土	37.3 m2

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

９｜造成計画図

■造成断面図（８～９）



切土	－ m2
盛土	1.3 m2

切土	3.7 m2
盛土	35.9 m2

※現在検討中の案であり、今後の関連機関との協議・調整及び検討の進捗により
変更となる可能性があります。

■樹木一覧表

■ Aゾーン:せせらぎ、ステップガーデン

項目	植栽イメージ・樹種等
3本のケヤキ	・かつての渋谷川の記憶として植栽 【樹種】 高木:ペデストリアンデッキ前のケヤキ(H=4.0m) →接ぎ木物のケヤキ(俗称:トウキョウケヤキ) ケヤキ(H=6.0m、H=4.0m各 1本)
サクラ類	・江戸時代の仙寿院のサクラ名所としての想いを馳せるサクラ ・冬の景を考慮し、外苑西通りの障り(歩道から公園への視線の抑え)となる常緑樹を植栽 【樹種】 高木・サクラ類(H=2.5~4.0m) エドヒガン、オオシマザクラ、コヒガンザクラ、シダレザクラ、ヨウコウザクラ、ヤエベニシダレ、ヤマザクラ 高木・常緑樹(H=3.5m　3本以上株立) シラカシ、ソヨゴ 低木・地被類:ムラサキシキブ、シモツケ、ホトトギス、フイリヤブラン 、
草土手	・渋谷川の土手をイメージ 【樹種】 地被類:タンポポ、ナノハナ、オミナエシ、カワラナデシコ、シロツメクサ、ノアザミ、カラスノエンドウ、ナズナ、ハルジオン、エノコログサ、ススキ、チガヤ、ギシギシ、シバ等

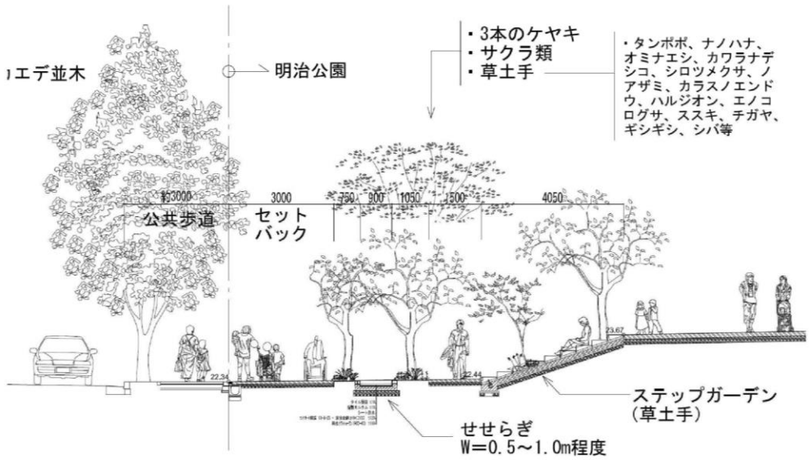


図 2.5.20　せせらぎ・草土手のイメージ

■オリーブの樹(移植)

項目	植栽イメージ・樹種等
樹齢 1000年のオリーブ	・竜巌禅寺にかつてあったマツの名木「青山円座松(笠松)」をモチーフとした樹形に見立てる ・移植は真夏と真冬を除けば通年、3月中旬~5月中旬が適期 【樹種】 高木:オリーブ移植 (H4.5 C3.90 W5.60) 低木:ローズマリー 地被類:フィリフェラ・オーレア、ラベンダー、ヒューケラ、アジュガ

■Bゾーン:南側鎌倉街道歩道沿い

項目	植栽イメージ・樹種等
民間マンション前の歩道との連続性	【樹種】 高木:アラカシ(H=3.0m、3本以上株立) 低木・地被類;オタフクナンテン、ベニバナアセビ、ギボウシ、ヒメウツギ、ハツユキカズラ、フウチソウ(斑入り)

■Cゾーン:希望の広場

項目	植栽イメージ・樹種等
イベント対応の芝生広場	・芝生は天然芝とし、イベント利用を考慮し耐圧基盤土壌とする ・芝生空間を魅力的に適用するにあたり、利用と養生のバランスを考慮した芝生種類の選定 【樹種】 地被類:天然芝(ティフトン芝)+耐圧基盤
広場を囲むデッキ上の緑陰樹	【樹種】 高木:ケヤキ(H=6.0m)、アキニレ(H=6.0m) 低木・地被類:ヘデラ、 斑入りビンカマジョール、アガパンサス
勝利と栄光のシンボル樹	・競技場で開催されるスポーツの勝利祈願するシンボル樹 【樹種】 高木:ゲッケイジュ(H=5.0m) 低木・地被類:ブルーパシフィック、プリペットレモンライム、斑入りノシラン

■イチョウ(既存)

項目	植栽イメージ・樹種等
公園エントランスとしてのゲート性	・低木・地被類は JOC 側植栽地の樹種の取入れ 【樹種】 高木:イチョウ(既存) 低木:シモツケ、ハクチョウゲ、アオキ、アジサイ 地被類:フッキソウ、フイリヤブラン、ツワブキ、ベニシダ

１０｜その他参考資料

■樹木一覧表

■Dゾーン:誇りの杜(使いこなす杜)　■Eゾーン:誇りの杜(使いこなす杜・育てる杜)

1）杜の基本構成

項目	植栽イメージ・樹種等
誇りの杜の基本となる樹種構成	・武蔵野雑木林をイメージとし、地域に適した樹種の選定 ・常緑樹と落葉樹の混交林(常緑:落葉＝3:7を目安)※1 ・代償植生のコナラ-クヌギ群集、地域の潜在自然植生のスダジイ-ヤブコウジ群集の構成種を参考に樹種を選定 ・フォレストコアの空間的な骨格を生み出すための高さ 8.0~10.0mの樹木を植栽 ・幹の太さや樹木の高さなど様々な樹齢の木のある杜を考慮した規格の選定 【樹種】 高木層(H=4.0m以上、25~40m未満) 常緑樹:アカガシ、アラカシ、ウバメガシ、クスノキ、シラカシ、シロダモ、スダジイ、タブノキ、モチノキ、モッコク、ユズリハ 落葉樹:アカシデ、アオダモ、アオハダ、イヌシデ、イロハモミジ、トチノキ、ウワミズザクラ、エノキ、クヌギ、ケヤキ、コナラ、コブシ、ハンノキ、ミズキ、ムクノキ、ヤマザクラ、ヤマコウバシ 亜高木層(H=10~25m未満) 常緑樹:ヤブニッケイ、 ヒサカキ、シロダモ、モチノキ、マサキ 落葉樹:アカシデ、イヌシデ、ゴンズイ、ホオノキ、ニシキギ、リョウブ 低木層(H=1.0m未満) 常緑樹:アオキ、アセビ、ヒサカキ、ナンテン、トベラ、ヤマツツジ、マンリョウ、ヤツデ 落葉樹:ウツギ、ウグイスカグラ、ガマズミ、カマツカ、キブシ、クロモジ、コウヤボウキ、コゴメウツギ、サンショウ、シモツケ、ヤマブキ、ツリバナ、ムラサキシキブ、マユミ、ミツバツツジ、クサイチゴ、モミジイチゴ、ヤマツツジ、ヤマハギ、リョウブ、レンゲツツジ 草本層(ツル植物も含む) シダ類、ツワブキ、オオバギボウシ、コオニユリ、ジャノヒゲ、シャガ、ススキ、ナルコユリ、ホウチャクソウ、ノガリヤス、ヒヨドリバナ、ヒメカンスゲ、ホトトギス、ホタルブクロ、ヤブコウジ、ヤブラン、ヤマブキソウ、アケビ、テイカカズラ 芝生広場、フォレストコア等 地被類:FC1ティフトン芝、FC2ノシバ、FC3
湿地(せせらぎ、溜まり周り)	・好適湿性を好む生き物が集まるような環境づくり 【樹種】 高木:ハンノキ、トネリコ、ミズキ 低木:イヌコリヤナギ、ネコヤナギ、ヤマハギ、ムラサキシキブ 草本類:ポイント的に播種又は植栽 ミゾハギ、ミズヒキ、ハンゲショウ、セリ、ミゾソバ 等

2）Dゾーン

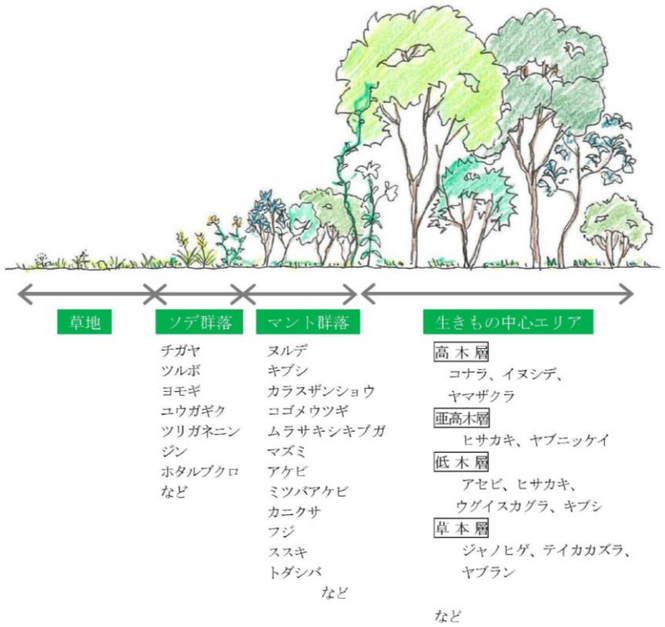
項目	植栽イメージ・樹種等
レインガーデン	・日当たりの良い水辺の植物。 【樹種】 草本類:ミソハギ、カサスゲ、ハナショウブ、ハンゲショウ、ミゾカクシ、アゼスゲ、 キツネノボタン等

3）Eゾーン:フォレストコア・個別エリア

項目		植栽イメージ・樹種等
フォレストコア(FC)の密度	FC1	・芝生を中心とした眺望の開けた明るい広場エリア
	FC2	・周辺を明るい林に囲まれ、デッキ・芝生を含んだ木漏れ日のエリア ・5~6本/100㎡(枝下が高い疎林広場)
	FC3	・樹木が密生し生物の生育環境を重視したエリア ・10本/100㎡(FC2より樹林密度が高い疎林広場)
フォレストコア周りの野の花修景		・武蔵野の野草による彩り修景 【樹種】 草本類:スミレ、ホタルブクロ、ウツボグサ、カワラナデシコ、オニユリ、ノカンゾウ、 カワラナデシコ、フクジュソウ、キキョウ、オミナエシ、ワレモコウ、 コバギボウシ等
視認性を確保したエリア		・樹林全体の密度を低めとし、園路から奥への視認性に配慮 ・支障となる中木類等は、透かし見える状態を考慮した本数調整及び配植 【樹種】 ※杜の基本構成樹種により選定
協働エリア		・都民協働の杜づくりとして、植樹祭等のイベントにより数年に分けて、苗木を植樹するエリア ・植樹密度は0.7本/㎡※2 【樹種】 クヌギ、コナラ、シラカシ等の苗木(H=0.5~1.0m)

参考）※1 常緑樹と落葉樹の比率は大手町の森を参考
(Civil Engineering Consultant VOL.273 October2016より)

※2 協働エリアの植栽密度(「春日部夢の森公園植樹計画書」 春日部市
疎植(落葉樹中心の農用林イメージ):0.5本/㎡
密植(常緑樹中心の屋敷林・社寺林イメージ):2.0本/㎡~4.0本/㎡

■樹木一覧表

項目	植栽イメージ・樹種等
生きもの中心エリア	・水路を中心に生きものの住処となるような樹林密度の高いエリアとする ・高木層、亜高木層、低木層、草本層の多階層構造の杜づくり ・生きもの中心エリアの外周にマント・ソデ群落を形成。 ・マント・ソデ群落は林内の気象条件を安定させ、人の踏み込みを抑制して植物の生長を促し、多種多様な生きものの住処をつくる。